



R Remote Version V7.0 ユーザーガイド

ヤマハ製品をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。このユーザーガイドでは、以下のモデルの各種パラメーターの設定を単独で行う Windows/Mac アプリケーション「R Remote」のセットアップ方法と操作方法、ファームウェアのアップデート方法について説明します。

R Remote V7.0 対応モデル

R シリーズ	Rio3224-D3, Rio1608-D3, Rio3224-D2, Rio1608-D2, Rio3224-D, Rio1608-D, RSio64-D, RMio64-D, Ri8-D, Ro8-D, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D
Tio モデル	Tio1608-D2, Tio1608-D

R Remote は、1 台のコンピューターで最大 24 台までのデバイスのパラメーターを設定できます。デバイスがつながっていないなくても、仮想的にマウントしてあらかじめ設定しておくこともできます。

また、対応するデバイスには、最大 2 台までの R Remote をインストールしたコンピューターを同時に接続できます。これにより、たとえばメインオペレーターが CL などのコンソールで操作しながら、2 人のアシスタントが異なる場所で微調整を行うといった運用ができます。



お知らせ

- ・ソフトウェア、ファームウェアおよびユーザーガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ソフトウェア、ファームウェアおよびユーザーガイドの一部、または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・このユーザーガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明を目的としたものです。実際の画面と異なる場合がありますので、ご了承ください。
- ・説明用画像は、Windows 版を使用しています。ただし、Mac 版だけの機能を説明するための画像は、Mac 版を使用しています。
- ・このソフトウェアは、タッチパネルによる操作の動作保証はしていません。
- ・Dante は、Audinate 社の登録商標です。
- ・Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Mac または macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- ・その他掲載されている会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。
- ・本製品には、オープンソースソフトウェアが組み込まれています。詳細は「About R Remote」ダイアログの「Legal」ボタンで表示される License Agreement をご覧ください。
- ・ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

目次

はじめに	4
動作環境および動作条件	4
コンピューターの動作環境	4
対応モデル・対応バージョン	4
本書の操作の表記について	5
セットアップ	6
R Remote をインストール(アンインストール)する	7
インストール方法	7
アンインストール方法	7
デバイスの設定をする	8
UNIT ID	8
IP アドレス	9
接続方法	11
START UP MODE	12
コンピューターとデバイスを接続する	14
デバイスの電源を入れる	14
コンピューターの IP アドレスを設定する	15
Windows の場合	15
Mac の場合	17
Dante Controller またはミキサー本体でルーティングをする	17
R REMOTE を操作する	18
メニューバー	18
エリア構成	20
機器選択エリア	21
情報表示エリア	22
メインエリア	23
Edit ウィンドウ (インプット)	33
Edit ウィンドウ (アウトプット)	35
「Network Setup」 ダイアログ	37
「Device Information」 ダイアログ	38
「IP Address」 ダイアログ	39
Static IP(Manual)で使用する手順	39
「Properties」 ダイアログ	40
「Meter」 画面	41
1 列表示モード(Meter (1Line))	41
2 列表示モード(Meter (2Line))	42
ファームウェアをアップデートする	43

ご注意(必ずお読みください)	43
アップデートの流れ	43
デバイスとコンピューターの接続	44
ネットワーク設定	45
R Remote Firmware Updater	45
アップデート手順	48
デバイスの発見と喪失について	49
ファームウェアのアップデートに失敗した場合	49
Dante Controller のネットワークグリッドビューでデバイス名が赤色で表示される場合	49
デバイスのインジケーター(赤)が点灯または点滅している場合	49
メッセージ一覧	52
■エラーメッセージ	52
■警告メッセージ	53
■確認メッセージ	53
■その他のメッセージ	53
困ったときは	54

はじめに

動作環境および動作条件

R Remote V7.0 の動作環境および動作条件について説明します。

コンピューターの動作環境

OS	Windows 11 macOS 13、macOS 14、macOS 15、macOS 26
CPU	Intel Core i3 以上、または Rosetta 2 がインストールされた Apple シリコンプロセッサ
HDD	120 MB 以上の空き容量
端子	Ethernet 端子 (1000BASE-T 以上) 接続する際は以下のものをご用意ください。 ・ Ethernet ケーブル(CAT5e 以上) ・ ネットワークスイッチ(ギガビットイーサネット対応) ※ネットワーク経由で接続する場合

対応モデル・対応バージョン

R Remote V7.0 に対応するモデルとファームウェアバージョンは、以下の通りです。
モデルやファームウェアのバージョンによっては、Dante Controller のインストールや対応バージョンへのアップデートが必要です。ファームウェアの更新については「[ファームウェアをアップデートする](#)」(43 ページ) を参照してください。

R Remote V7.0 対応モデル/ファームウェアバージョン

モデル	対応バージョン	Dante Controller
Rio3224-D3, Rio1608-D3	全バージョン ※1	—
Rio3224-D2, Rio1608-D2	V1.00 以降	必要
Rio3224-D, Rio1608-D, RMio64-D, Ri8-D, Ro8-D	V3.11 以降 ※2	必要
RSio64-D	V3.10 以降	必要
RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D	全バージョン	—
Tio1608-D2	V2.00 以降	必要
Tio1608-D	V1.00 以降	必要

・ R Remote V7.0 対応バージョンへのアップデート

※1 ファームウェアが V1.03 以前の場合は、V2.00 へ直接アップデートできません。一旦 V1.04 へアップデートした後、R Remote V7.0 を使用して V2.00 へアップデートしてください。R Remote V6.0 では V2.00 へアップデートできません。

※2 ファームウェアが V3.10 以前の場合は、専用アップデーターで一旦 V3.11 にアップデートする必要があります。アップデーターは、V3.11 のファームウェア(圧縮ファイル)に含まれています。

ファームウェアは、下記ウェブサイトからダウンロードしてください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

・ Dante Controller のインストール

上記表で「必要」と記載されているモデルは、Dante Controller のインストールが必要です。

Dante Controller は、Audinate 社ウェブサイトの Dante Controller ダウンロードページからダウンロード

してください。

<https://www.audinate.com/products/software/dante-controller/>

NOTE

ソフトウェアの最新バージョン、および動作環境については、下記 URL の最新情報をご確認ください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

本書の操作の表記について

ショートカット

ショートカットは、<Windows のキー> (<Mac のキー>) + <キー> または クリック と記しています。

たとえば、<Ctrl> (<command>) + クリック は、Windows では <Ctrl> キーを押したまま、Mac では <command> キーを押したまま、クリックをします。

右クリック

Mac では <Control> キーを押しながらクリックをしてください。

セットアップ

以下の流れでセットアップをします。

- 1 [R Remote をインストールする \(P.7\)](#)



- 2 [デバイスの設定をする \(P.8\)](#)



- 3 [コンピューターとデバイスを接続する \(P.14\)](#)

NOTE

DANTE DOMAIN MANAGER を使って別サブネットにつながっているデバイスは接続できません。



- 4 [デバイスの電源を入れる \(P.14\)](#)



- 5 [コンピューターの IP アドレスを設定する \(P.15\)](#)



- 6 [Dante Controller またはミキサー本体でルーティングをする \(P.17\)](#)

デバイスの結線や設定の詳細については、各デバイスの取扱説明書も合わせてご参照ください。

R Remote をインストール(アンインストール)する

以下の手順で、インストールまたはアンインストールできます。

インストール方法

1. 管理者権限のあるアカウントで Windows にログオン、または Mac にログインします。
2. ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Install_R_Remote.exe」(Windows)または「Install R Remote Vxxx.pkg」(Mac)(xxx はバージョン)をダブルクリックします。

R Remote のセットアップダイアログが表示されます。

NOTE

- ・ Windows で「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]または[はい]をクリックします。
- ・ 「Dante Discovery」および「Dante Control and Monitoring」機能のインストールを促すダイアログが表示される場合、対応したバージョンの Dante Controller 等のインストールが必要です。詳細はヤマハ プロオーディオ ウェブサイトをご参照ください。

3. 画面の指示に従ってインストールを実行します。

アンインストール方法

Windows の場合：

1. [コントロールパネル] > [プログラムと機能]または[プログラムのアンインストール]で、削除したい項目を選択し、[アンインストールと変更]をクリックします。
2. ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。
3. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]または[はい]をクリックしてください。

Mac の場合：

インストーラーに同梱されている「Uninstall R Remote.app」をダブルクリックします。

デバイスの設定をする

以下の設定項目を設定してください。モデルにより設定手段が異なります。

設定項目

- [UNIT ID](#)
- [IP アドレス](#)
- [接続方法](#)
- [START UP MODE](#)

設定手段

モデル	主な設定手段
Rio3224-D3, Rio1608-D3, Rio3224-D2, Rio1608-D2, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D	ディスプレイで設定します。
Rio3224-D, Rio1608-D, RSio64-D, RMio64-D, Ri8-D, Ro8-D, Tio1608-D2, Tio1608-D	ディップスイッチやロータリースイッチまたはスイッチを使用して設定します。

UNIT ID

UNIT ID は機種により設定できる範囲が異なります。同一ネットワーク内では、各機器に重複しない ID を設定してください。

• ディスプレイで設定するモデル

SETUP メニューの「UNIT ID」で設定します。

• ディップスイッチで設定するモデル

[UNIT ID]ロータリースイッチ（または[UNIT ID]スイッチ）とディップスイッチで設定します。
ディップスイッチは、以下のように設定します。

※Tio1608-D2, Tio1608-D でクイックコンフィグを使用する場合は、[UNIT ID]スイッチのみで設定します。

設定	ディップスイッチ
UNIT ID の範囲を 0 から F に設定する	 (1 を上) 
UNIT ID の範囲を 10 から 1F に設定する	 (1 を下) 

IP アドレス

R Remote でデバイスをコントロールするための IP アドレスの設定方法を選択します。
(ここで設定する IP アドレスは、Dante ネットワークの IP アドレスとは異なります。)

- **Rio3224-D3, Rio1608-D3, Rio3224-D2, Rio1608-D2, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D の場合**

モデル	設定メニュー
Rio3224-D3, Rio1608-D3, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D	CONTROL メニューの「NW PORT」で設定します。
Rio3224-D2, Rio1608-D2	SETUP メニューの「NETWORK MODE」で設定します。

- **Rio3224-D, Rio1608-D, Ri8-D, Ro8-D, RSio64-D の場合**

初めてコンピューターと接続するときは、Static IP (Manual)以外に設定してください。
固定 IP アドレスにする場合など、Static IP (Manual)を使用するときは、R Remote を使用して IP アドレスを設定後、Static IP (Manual)に切り替えてください。

設定	説明	ディップスイッチ
Auto IP	IP アドレスを自動的に 169.254.xxx.xxx の形式に設定する。	 (2 と 3 を上)
DHCP	DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスを設定する。	 (2 が下で、3 が上)
Static IP (Auto)	IP アドレスを 192.168.0.xxx (xxx= UNIT ID)に設定する。	 (2 が上で、3 が下)
Static IP (Manual)	IP アドレスを R Remote など設定した値に設定する。	 (2 と 3 を下)

NOTE

- Dante 機器および R Remote のみでネットワークを構築する場合は、Auto IP の使用をおすすめします。
- 既存のネットワークに接続する場合は、必要に応じて DHCP を選択してください。

- **Tio1608-D2, Tio1608-D の場合**

設定	説明	ディップスイッチ
Auto IP (Link Local)	IP アドレスを自動的に 169.254.xxx.xxx の形式に設定する。	 (5 と 6 を上)
DHCP	DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスを設定する。	 (5 が上で、6 が下)
Static IP (Auto)	IP アドレスを 192.168.0.xxx (xxx= UNIT ID)に設定する。	 (5 が下で、6 が上)
Static IP (Manual)	IP アドレスを R Remote など設定した値に設定する。	 (5 と 6 を下)

- **RMio64-D の場合**

R Remote を使って設定します。

RMio64-D はディップスイッチでの IP アドレス設定に対応していないため、R Remote を使用して設定します。詳細は [「IP Address」ダイアログ](#) を参照してください。

接続方法

SECONDARY ポートの接続方法を設定します。

- [Rio3224-D3, Rio1608-D3, Rio3224-D2, Rio1608-D2, RUio1608SB-D, RUio16FLX-D, RUio0804-D](#) の場合

モデル	設定メニュー
Rio3224-D3, Rio1608-D3, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D	SETUP メニューの「SEC. PORT」で設定します。
Rio3224-D2, Rio1608-D2	SETUP メニューの「SECONDARY PORT」で設定します。

- [Rio3224-D, Rio1608-D, Ri8-D, Ro8-D, Tio1608-D2, Tio1608-D](#) の場合

設定	ディップスイッチ
DAISY CHAIN	 (4 を上) 
REDUNDANT	 (4 を下) 

- [RMio64-D](#) の場合

設定	ディップスイッチ
DAISY CHAIN	 (1 を上) 
REDUNDANT	 (1 を下) 

START UP MODE

機器を起動したときの動作を選択します。

NOTE

CL,QL,RIVAGE PM,DM7,DM5,DM3 シリーズを接続していない場合、START UP MODE を RESUME に設定することをおすすめします。REFRESH になると、デバイスを再起動するたびに、R Remote から設定を送る必要があります。

- Rio3224-D3, Rio1608-D3, Rio3224-D2, Rio1608-D2, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D の場合

モデル	設定メニュー
Rio3224-D3, Rio1608-D3, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D	SETUP メニューの「START UP」で設定します。
Rio3224-D2, Rio1608-D2	SETUP メニューの「START UP MODE」で設定します。

設定	説明														
REFRESH	デバイスの電源をオンにしたとき、以下の設定を初期化し、入出力をミュートする。 <table><tr><th>設定</th><th>初期値</th></tr><tr><td>HA GAIN</td><td>-6 dB *</td></tr><tr><td>+48V</td><td>OFF</td></tr><tr><td>HPF</td><td>OFF</td></tr><tr><td>HPF FREQ</td><td>80 Hz</td></tr><tr><td>GAIN COMPENSATION</td><td>OFF</td></tr><tr><td>COMPENSATION GAIN</td><td>-6 dB *</td></tr></table> * RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D は 0 dB	設定	初期値	HA GAIN	-6 dB *	+48V	OFF	HPF	OFF	HPF FREQ	80 Hz	GAIN COMPENSATION	OFF	COMPENSATION GAIN	-6 dB *
設定	初期値														
HA GAIN	-6 dB *														
+48V	OFF														
HPF	OFF														
HPF FREQ	80 Hz														
GAIN COMPENSATION	OFF														
COMPENSATION GAIN	-6 dB *														
RESUME	前回電源をオフにする前の状態で起動する。														
REFRESH w/o MUTE	デバイスの電源をオンにしたとき、設定を初期化する。初期値は REFRESH と同じ。ただし入出力はミュートしない。														

- Rio3224-D, Rio1608-D, Ri8-D, Tio1608-D2, Tio1608-D の場合

設定	説明	ディップスイッチ												
REFRESH	デバイスの電源をオンにしたとき、以下の設定を初期化し、入出力をミュートする。 <table><tr><th>設定</th><th>初期値</th></tr><tr><td>HA GAIN</td><td>-6 dB</td></tr><tr><td>+48V</td><td>OFF</td></tr><tr><td>HPF</td><td>OFF</td></tr><tr><td>HPF FREQ</td><td>80 Hz</td></tr><tr><td>Gain Compensation *</td><td>OFF</td></tr></table> * Tio1608-D、Tio1608-D2 を除く NOTE 初期化後デバイスを使用するには、電源オフ→ディップスイッチを RESUME に設定→電源オンの操作をする必要があります。	設定	初期値	HA GAIN	-6 dB	+48V	OFF	HPF	OFF	HPF FREQ	80 Hz	Gain Compensation *	OFF	 (7 と 8 を上)
設定	初期値													
HA GAIN	-6 dB													
+48V	OFF													
HPF	OFF													
HPF FREQ	80 Hz													
Gain Compensation *	OFF													

RESUME	前回電源をオフにする前の状態で起動する。	 (7 を下、8 を上)
--------	----------------------	---

• RSio64-D の場合

設定		ディップスイッチ																
NORMAL	前回起動時の設定で、通常起動する。	78 (7 と 8 を上)																
INITIALIZE	デバイスの電源をオンにしたとき、以下の設定を初期化する。 <table><tr><th>設定</th><th>初期値</th></tr><tr><td>SLOT 1-4 SRC</td><td>OFF</td></tr><tr><td>WORD CLOCK SELECT</td><td>DANTE/48 kHz</td></tr><tr><td>USER PATTERN</td><td>プリセットの PATTERN #1 と同じルーティング設定</td></tr><tr><td>Static IP (Manual)</td><td>0.0.0.0</td></tr><tr><td>パネルロック</td><td>ロック解除</td></tr><tr><td>Dante パッチ</td><td>すべて OFF</td></tr><tr><td>Dante デバイスラベル</td><td>Y001-Yamaha-RSio64-D-123456)(*1)</td></tr></table> NOTE 初期化後デバイスを使用するには、電源オフ→ディップスイッチを NORMAL に設定→電源オンの操作をする必要があります。	設定	初期値	SLOT 1-4 SRC	OFF	WORD CLOCK SELECT	DANTE/48 kHz	USER PATTERN	プリセットの PATTERN #1 と同じルーティング設定	Static IP (Manual)	0.0.0.0	パネルロック	ロック解除	Dante パッチ	すべて OFF	Dante デバイスラベル	Y001-Yamaha-RSio64-D-123456)(*1)	78 (7 を下、8 を上)
設定	初期値																	
SLOT 1-4 SRC	OFF																	
WORD CLOCK SELECT	DANTE/48 kHz																	
USER PATTERN	プリセットの PATTERN #1 と同じルーティング設定																	
Static IP (Manual)	0.0.0.0																	
パネルロック	ロック解除																	
Dante パッチ	すべて OFF																	
Dante デバイスラベル	Y001-Yamaha-RSio64-D-123456)(*1)																	

(*1) Dante デバイスラベルの 3、4 文字目は機器設定ディップスイッチ 1 および SETUP[UNIT ID]ロータリースイッチに依存します。また下 6 桁は本体の MAC アドレスの下 6 桁に依存します。

コンピューターとデバイスを接続する

コンピューターとデバイスを Ethernet ケーブルでつなぎます。

「[接続方法](#)」で DAISY CHAIN にした場合:

数珠つなぎにデバイスの Dante 端子とコンピューターをつないでください。

「[接続方法](#)」で REDUNDANT にした場合:

- Dante の[PRIMARY]端子に接続されているネットワークスイッチにコンピューターをつないでください。
- [Rio3224-D3](#), [Rio1608-D3](#), [RUIo1608SB-D](#), [RUIo0804-D](#), [RUIo16FLX-D](#) の場合は、コントロール専用ポートにつなぐこともできます。

NOTE

DANTE DOMAIN MANAGER などによって、コンピューターと別のサブネットに接続されているデバイスは接続できません。

デバイスの電源を入れる

デバイスの電源を入れます。

電源を入れた後に変更したディップスイッチ、ロータリースイッチ、ディスプレイ操作の設定は、再度電源を入れ直すまで反映されません。

コンピューターの IP アドレスを設定する

デバイスと通信をするために、コンピューターの IP アドレスを設定します。

Windows と Mac で設定方法が異なります。また、[「デバイスの設定をする」](#) の IP アドレス設定によってコンピューターの IP アドレス設定が異なります。

- [Windows の場合](#)
 - [Mac の場合](#)
-

Windows の場合

コントロールパネルを表示する

[スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル]を選びます。

TCP/IP を設定する

以下の手順でコンピューターの TCP/IP を設定します。

1. [コントロールパネル] > [ネットワークと共有センター]または[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックまたはダブルクリックします。

「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

2. 「ネットワークと共有センター」画面の左側の「タスク」一覧の中から[ネットワーク接続の管理]または[アダプターの設定変更]をクリックし、[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。

「ローカルエリア接続の状態」ダイアログが表示されます。

NOTE

- ・ 「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されることがあります。[続行]または[はい]をクリックしてください。
- ・ 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示された場合、手順 4 に進んでください。

3. [プロパティ]をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。

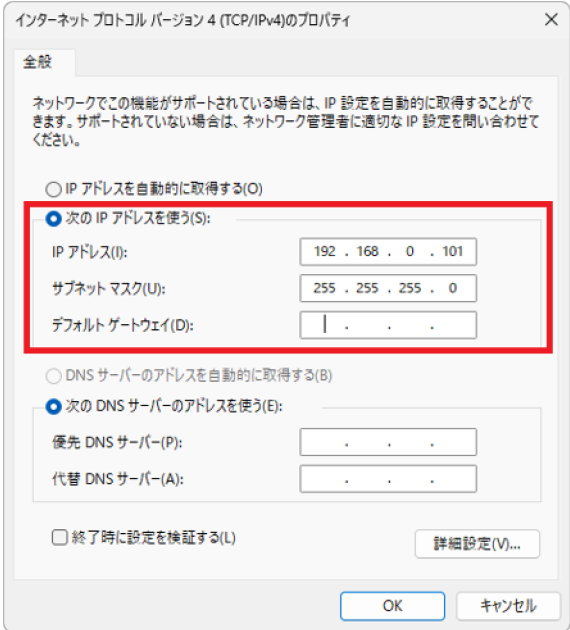
NOTE

「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されることがあります。[続行]または[はい]をクリックしてください。

4. [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択して、[プロパティ]をクリックします。

「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」ダイアログが表示されます。

5. 「[デバイスの設定をする](#)」の IP アドレスの設定によって、以下のように設定します。

Auto IP または DHCP	Static IP (Manual)
[IP アドレスを自動的に取得する(O)]をクリックする。 	[次の IP アドレスを使う]をクリックし、IP アドレスに「192.168.0.xxx(1 から 254 までのうちで、デバイスを含めたほかの機器と重複しない値)」、サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力する。  画像の IP アドレスは例です

Static IP (Manual)の場合、ネットワークに適した設定をしてください。詳しくはネットワークの管理者にご相談ください。

6. [OK]をクリックします。

「[Dante Controller またはミキサー本体でルーティングをする](#)」に進んでください。

Mac の場合

以下の手順で IP アドレスを設定します。

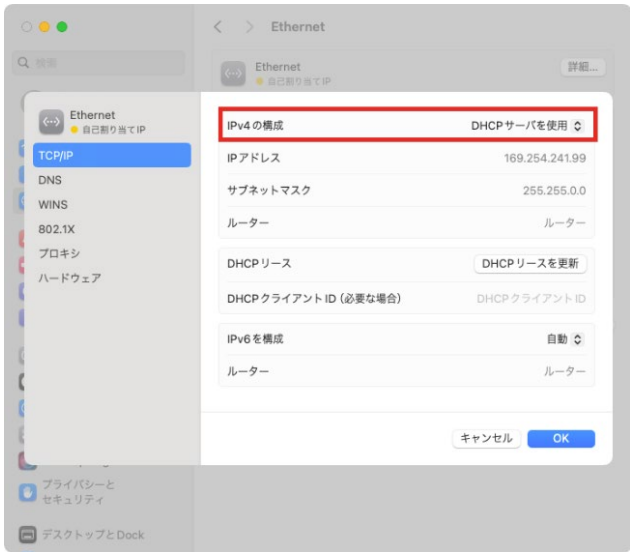
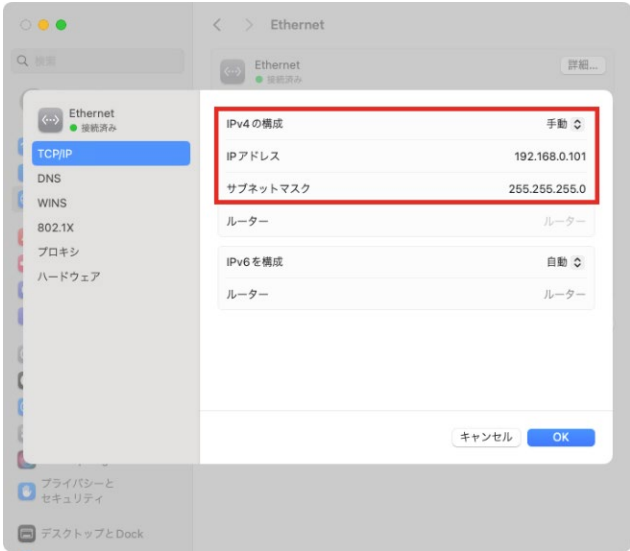
1. [システム環境設定] > [ネットワーク]をクリックします。

「ネットワーク」画面が表示されます。

2. デバイスと接続するサービスをクリックします。

Mac 内蔵の Ethernet 端子を使用する場合は、[Ethernet]をクリックしてください。

3. 「[デバイスの設定をする](#)」の IP アドレスの設定によって、以下のように設定します。

Auto IP または DHCP	Static IP (Manual)
「IPv4 の構成」で[DHCP サーバを使用]を選択する。 	「IPv4 の構成」で[手動]を選択し、IP アドレスに「192.168.0.xxx(1 から 254 までのうちで、デバイスを含めたほかの機器と重複しない値)」、サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力する。 

画像の IP アドレスは例です。

Static IP (Manual)の場合、ネットワークに適した設定をしてください。詳しくはネットワークの管理者にご相談ください。

4. [OK]をクリックしてから、「ネットワーク」画面を閉じます。

Dante Controller またはミキサー本体でルーティングをする

Dante Controller を使ってルーティングする場合は、「Dante Controller ユーザーガイド」を参照してください。

- [Rio3224-D3](#), [Rio1608-D3](#), [RUio1608SB-D](#), [RUio16FLX-D](#), [RUio0804-D](#) で Dante Controller を使用する場合は、コントロール専用ポートにつなげられません。
- CL,QL,RIVAGE PM,DM7,DM5,DM3 シリーズを使ってルーティングする場合は、各リファレンスマニュアルを参照してください。

以上でセットアップは終了です。

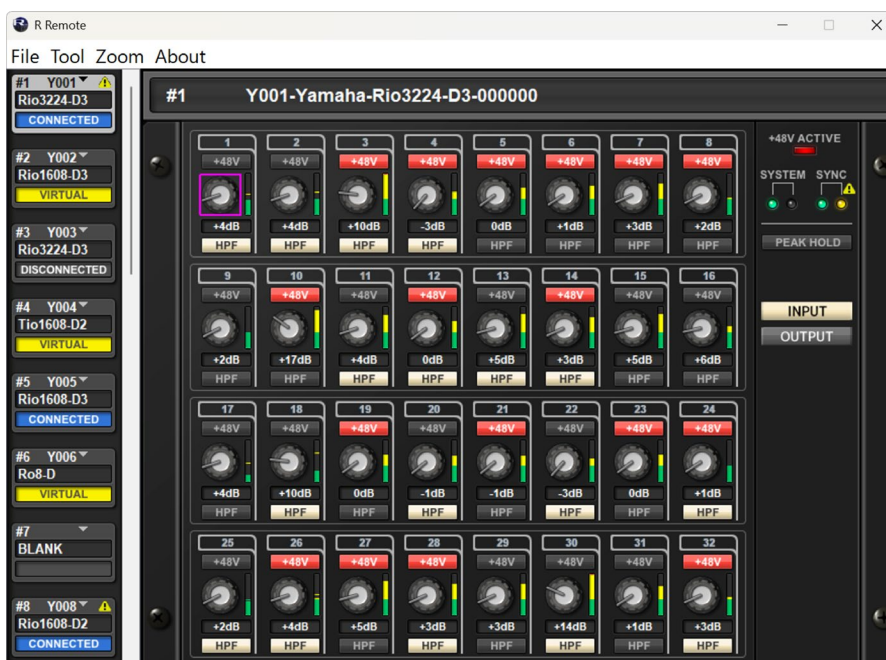
R Remote を操作する

R Remote を起動します。

- **Windows の場合**：[スタート] > [すべてのアプリ] > [Yamaha R Remote] > [R Remote]を選択
- **Mac の場合**：[移動] > [アプリケーション] > [R Remote]をダブルクリック

NOTE

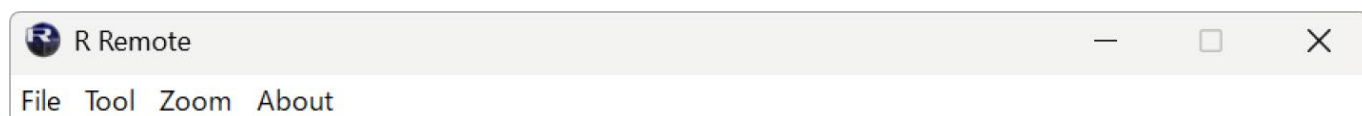
デバイスと通信するためのコンピューターのネットワークカードを選択するための「[Network Setup](#) ダイアログが表示されることがあります。表示された場合、デバイスとつながっているネットワークカードをダブルクリックするか、ネットワークカードを選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。



メニューバー

R Remote で実行できるコマンド(命令)が、カテゴリごとにまとめられています。

クリックするとコマンドのリストが表示されます。



インターフェース

メニュー	コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[File]	[Open]	保存されているファイル(rrmt 形式または rrm 形式)を開きます。 注記 デバイスが接続されている状態でファイルを開くと、設定がデバイスに反映されます。CL,QL,RIVAGE PM, DM7, DM5 ,DM3 シリーズなども接続している場合は、設定が上書きされますのでご注意ください。	「Open File」ダイアログ

	[Save As]	ファイルを保存します。拡張子は rrmt で、R Remote 専用のファイルになります。	「Save File」ダイアログ
	[Network Setup]	デバイスと通信するためのコンピューターのネットワークインターフェースカードを選択します。	「Network Setup」ダイアログ
	[Device Information]	接続されているデバイスの情報を表示します。	「Device Information」ダイアログ
	[Meter (1Line)]	アサインされている対象のデバイスのメーターを 1 列で縦に並べて表示します。	「Meter」画面
	[Meter (2Line)]	アサインされている対象のデバイスのメーターを 2 列で縦に並べて表示します。	「Meter」画面
	[Quit] *1	R Remote を終了します。	---
[Tool]	[Firmware Update]	ファームウェアをアップデートするための画面を表示します。	R Remote Firmware Updater
[Zoom]	[100%]	画面表示を 100%にします。	---
	[150%]	画面表示を 150%にします。	---
	[200%]	画面表示を 200%にします。	---
	[Meter Zoom]	チェックを入れると、Meter(1Line/2Line)画面が、上記 [100%]、[150%]、[200%]のサイズ変更の対象になります。 ・ チェックを入れないと 100%固定です。 ・ 初期値ではオフです(チェックが入っていません)。	---
[About] *1	[About R Remote]	R Remote のバージョンなどの詳細情報を表示します。	「About R Remote」ダイアログ

*1 Mac の場合は、R Remote メニューの中にあります。

エリア構成

R Remote は機器選択エリア、情報表示エリア、メインエリアの大きく 3 つの部分にわかれます。

- [機器選択エリア](#)
- [情報表示エリア](#)
- [メインエリア](#)

機器選択エリア

情報機器エリア



メインエリア

機器選択エリア



機器選択エリアには、表示切り替えボタン#1～24 が縦に並んでいます。

表示切り替えボタンをクリックすると、対応するデバイスが情報表示エリアとメインエリアに表示されます。

表示切り替えボタンの▼をクリックすると、UNIT ID が選択できます。初期状態では UNIT ID は未選択になっているため、デバイスは接続されません。対象となるデバイスの UNIT ID を選択してください。

NOTE

- ・ V5.9 以前の R Remote で保存したファイルを読み込んだ場合、Rack 1～24 に対してデバイスの UNIT ID 1～24 が順番にアサインされます。
- ・ V6.0 以降の R Remote で保存したファイルを V5.9 以前の R Remote で読み込んだ場合、デバイスの UNIT ID の設定は反映されません。従来通りに 1～24 が固定でアサインされたままとなります。

表示切り替えボタンが選択されている状態でマウスの左ボタンを押すと、該当するデバイスの全インジケータが点滅するので、対応する機器本体を識別することができます。また、デバイスの状態に応じてアラート⚠️を表示します。

表示切り替えボタンを右クリックすると、以下のコンテキストメニューが開きます。

コマンド	概要
[Mount]	「Mount」ダイアログが表示されます。マウントする機器を選択してください。
[Connect]	選択されている機器と同期状態にします。
[Disconnect]	選択されている機器と切断状態にします。
[Properties]	[Properties] ダイアログ が表示されます。
[Summary] Rio3224-D2, Rio1608-D2のみ	デバイスの Summary (REPORT 情報)を取得し、表示します。
[Log] Rio3224-D3, Rio1608-D3, Rio3224-D2, Rio1608-D2, RUio1608SB-D, RUio16FLX-D, RUio0804-Dのみ	ファイル名は自動的に付けられます。 ・ Rio3224-D2, Rio1608-D2 の場合 デバイスの LOG 情報を取得後、ファイル保存先を選択します。 Rio3224-D2 の例：Rio3224-D2_201712261339.log * 数字は"年号""月""日付""時間"です。 ・ Rio3224-D3, Rio1608-D3, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D の場合 ファイル保存先を選択後、LOG 情報を取得します。

表示切り替えボタンの下側には接続状態が表示されます。

表示	状態
VIRTUAL	実際の機器が存在しない状態で、機器をマウントしている。 または、設定が間違っていて通信できない。
BLANK	機器をマウントしていない。
CONNECTING	機器と同期中になっている。
CONNECTED	機器と同期状態になっている。
DISCONNECTED	機器と同期可能だが、[Disconnect]コマンドで切断状態になっている。または通信が途切れたか、接続に失敗している。
DUPLICATED	同じ UNIT ID の機器が複数存在する。機器の UNIT ID の重複を解消してください。

情報表示エリア

選択されている機器の UNIT ID と名称を表示します。

#1	Y001-Yamaha-Rio3224-D3-000000
----	-------------------------------

ファームウェアのバージョンや IP アドレスを確認する場合は、[File]メニュー > [Device Information]で [\[Device Information\] ダイアログ](#)を開いてください。

メインエリア

選択されたデバイスの状態表示や、パラメーターの簡易設定をします。モデルによって表示が異なります。

Rio3224-D3, Rio1608-D3, Rio3224-D2, Rio1608-D2, Rio3224-D, Rio1608-D, Ri8-D, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D, Tio1608-D2, Tio1608-D の場合

- 各端子の入出力の詳細は Edit ウィンドウを開いて設定します。操作子以外のところをダブルクリック、または右クリックで[Open Edit Window]を選択すると、[Edit ウィンドウ \(インプット\)](#)が表示されます。
- Rio3224-D3, Rio1608-D3 は、[INPUT]/[OUTPUT]ボタン(⑤)でインプット画面（以下の画面）と[アウトプット画面](#)の表示を切り替えることができます。



画面は Rio3224-D3 の場合（INPUT 画面時）で説明しています。

NOTE

- モデルによって、HA 表示部(①)の数が変わります。
- RUio16FLX-D の場合：INPUT 設定の CH 以外は“disabled”と表示します。

① HA 表示部

HA の設定を表示/設定します。

機器の端子番号が表示されている部分でマウスの左ボタンを押すと、機器本体の該当端子のインジケーターが点灯します。



② [+48V]ボタン

チャンネルごとのファンタム電源のオン/オフを切り替えます。

⑥ GAIN ノブ

機器の HA のアナログゲイン量を設定します。現在の設定値はノブの下にある数値ボックスで確認できます。選択している GAIN ノブや数値ボックスはピンクの枠で囲まれ、コンピュータの[tab]ボタンで次のチャンネルに移動できます。

数値ボックスをダブルクリックすると、キーボードで直接入力できます。また、ノブのすぐ右側にあるレベルメーターで、対応するポートの入力レベルを確認できます。



ノブ部分でのショートカットやコンテキストメニューには次のものがあります。

操作	動作
<Ctrl> (<command>) + クリック	アナログゲイン量を初期値(-6 dB) *にします。 * RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D は 0 dB
<Ctrl> (<command>) + <Shift> + クリック	アナログゲイン量を 0 dB にします。
右クリック	以下のコンテキストメニューを表示します。 [All Default] 全チャンネルのアナログゲイン量を初期値(-6 dB) *にします。 * RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D は 0 dB [All OdB] 全チャンネルのアナログゲイン量を 0 dB にします。

⑦ [HPF] ボタン

機器の HA に内蔵されているハイパスフィルターのオン/オフを切り替えます。カットオフ周波数を設定する場合は、[Edit ウィンドウ\(インプット\)](#)で設定してください。

⑧ [+48V ACTIVE] インジケーター

機器のファンタム電源のオン/オフ状態が表示されます。オン/オフの切り替えは、機器本体で行います。

NOTE

- RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D の場合：
機器本体に+48V ACTIVE スイッチはありません。本体起動時は基本的にオン状態です。
Meter 画面表示中にエンコーダスイッチを長押ししている間のみ、一時的にオフ状態となります。離すと、オン状態に戻ります。
- Rio3224-D2, Rio1608-D2, Rio3224-D, Rio1608-D, Ri8-D, Tio1608-D の場合、または Tio1608-D2 を Tio1608-D Compatibility Mode で使用している場合は、[+48V MASTER]と表示されます。

⑨ [SYSTEM] インジケーター/[SYNC] インジケーター

機器の状態や Dante の状態を表示します。マウスカーソルをこの部分に持ってくると、表示の内容をポップアップします。また、デバイスの状態に応じてインフォ  やアラート  を表示します。

⑩ [PEAK HOLD] ボタン

このボタンをオンにすると、各レベルメーターのピークが保持されます。オフにすると、保持されていたピークが解除されます。

⑪ [INPUT] ボタン/[OUTPUT] ボタン (Rio3224-D3, Rio1608-D3 のみ)

[INPUT] ボタンを押してインプット画面（この画面）を表示し、[OUTPUT] ボタンを押して[アウトプット画面](#)を表示します。

Rio3224-D3, Rio1608-D3 のアウトプット画面

アウトプットのパラメーターの簡易設定をします。操作子以外のところをダブルクリック、または右クリックで [Open Edit Window] を選択すると、[Edit ウィンドウ \(アウトプット\)](#) が表示されます。



① アウトプット表示部

Rio3224-D3, Rio1608-D3 のアウトプットの設定を表示/設定します。



① [DELAY]ボタン

ディレイのオン/オフを切り替えます。

② ディレイ設定ノブ

ディレイ値を設定します。現在の設定値はノブの下にある数値ボックスで確認できます。選択しているディレイ設定ノブや数値ボックスはピンクの枠で囲まれ、コンピューターの[tab]ボタンで次のチャンネルに移動できます。数値ボックスをダブルクリックすると、キーボードで直接入力できます。単位は DELAY SCALE で設定した単位が表示されます。ノブのすぐ右側にあるレベルメーターで、対応するポートの出力レベルを確認できます。



②～⑤は、インプット画面と同様です。前ページを参照してください。

⑥ DELAY SCALE

ディレイタイムの単位を設定します。meter、feet、sample、ms から選択します。また、frame が設定できます。

⑦ PHONES

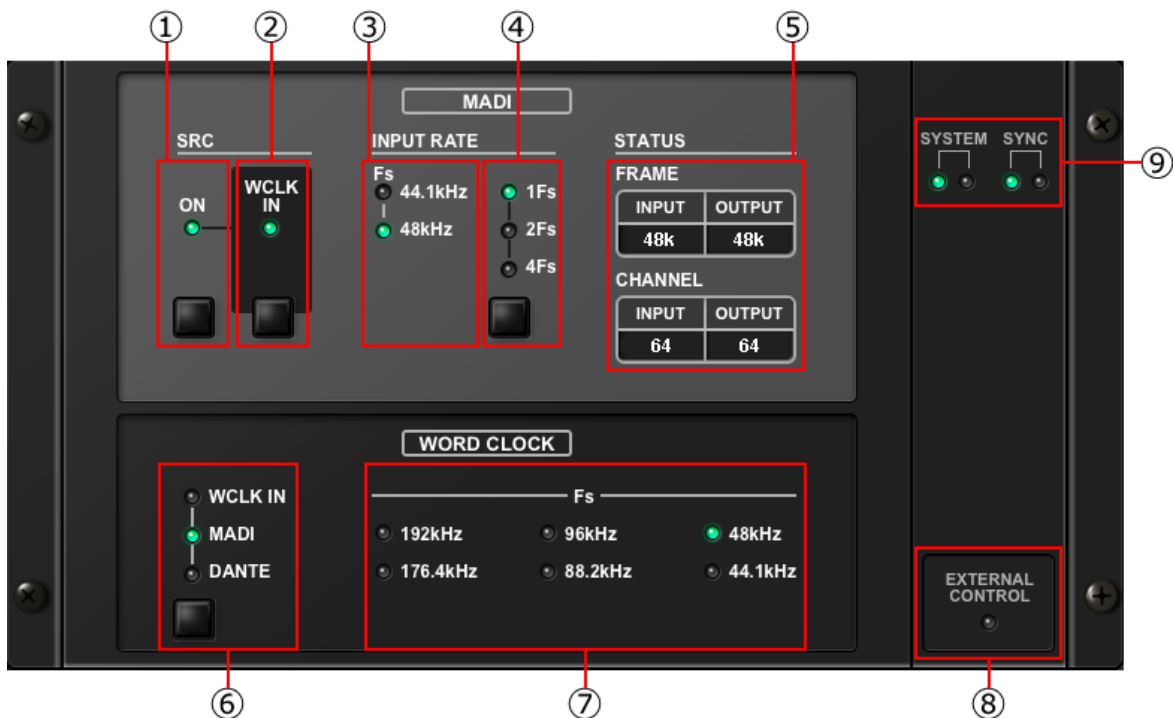
PHONES OUT ポートに割り当てたチャンネルとレベルメーターが表示されます。また、割り当てたチャンネルを変更できます。

⑧ インピーダンスボタン

出力インピーダンスを設定します。10K か 600 で切り替えます。(単位：Ω)

RMio64-D の場合

RMio64-D の設定を変更できます。



① **MADI [SRC ON]インジケータ**
MADI [SRC ON]ボタン

SRC (Sampling Rate Converter)のオン/オフを切り替えます。

② **MADI [SRC WCLK IN]インジケータ**
MADI [SRC WCLK IN]ボタン

RMio64-D のリアパネルの MADI WCLK IN FOR SRC 端子から入力されているワードクロックを SRC の基準クロックとして使用する(点灯)/使用しない(消灯)を切り替えます。

③ **MADI [INPUT RATE Fs 44.1kHz]インジケータ**
MADI [INPUT RATE Fs 48kHz]インジケータ

MADI の入力信号が 44.1 kHz ベースか 48 kHz ベースかを自動判別して点灯します。有効な MADI の入力信号がないときは消灯します。

④ **MADI [INPUT RATE 1Fs]インジケータ**
MADI [INPUT RATE 2Fs]インジケータ
MADI [INPUT RATE 4Fs]インジケータ
MADI [INPUT RATE] 1Fs/2Fs/4Fs ボタン

MADI の入力周波数に合わせて 1Fs(1 倍)/2Fs(2 倍)/4Fs(4 倍)を選択します。たとえば MADI の入力信号が 192 kHz(48 kHz の 4 倍)のときは、MADI INPUT RATE Fs 48 kHz インジケータが点灯していることを確認して「4Fs」を選択します。

NOTE

「2Fs」選択時は、MADI 入力信号のフレーム周波数 (48 kHz/96 kHz) を本体が自動判別します。

⑤ **MADI [STATUS INPUT]ステータス**
MADI [STATUS OUTPUT]ステータス

MADI の入力信号と出力信号の情報(フレーム周波数/チャンネル数)を表示します。

- ⑥ **WORD CLOCK [WCLK IN]インジケーター**
WORD CLOCK [MADI]インジケーター
WORD CLOCK [DANTE]インジケーター
WORD CLOCK [WCLK IN/MADI/DANTE]ボタン

ワードクロックソースを選択します。

WCLK IN	RMio64-D のリアパネルの WORD CLOCK IN 端子から入力されているワードクロック信号を使用します。有効なワードクロック入力がないときはインジケーターが点滅します。
MADI	MADI 入力信号のワードクロックを使用します。有効なワードクロック入力がないときはインジケーターが点滅します。
DANTE	Dante ネットワークのワードクロックを使用します。

- ⑦ **WORD CLOCK [Fs]インジケーター**

本体が動作しているワードクロック周波数を表示します。同期が取れていないときは点滅します。

- ⑧ **[EXTERNAL CONTROL] インジケーター**

外部からのリモートコントロールでのみ操作できるパラメーターが有効になっているときに点灯します。

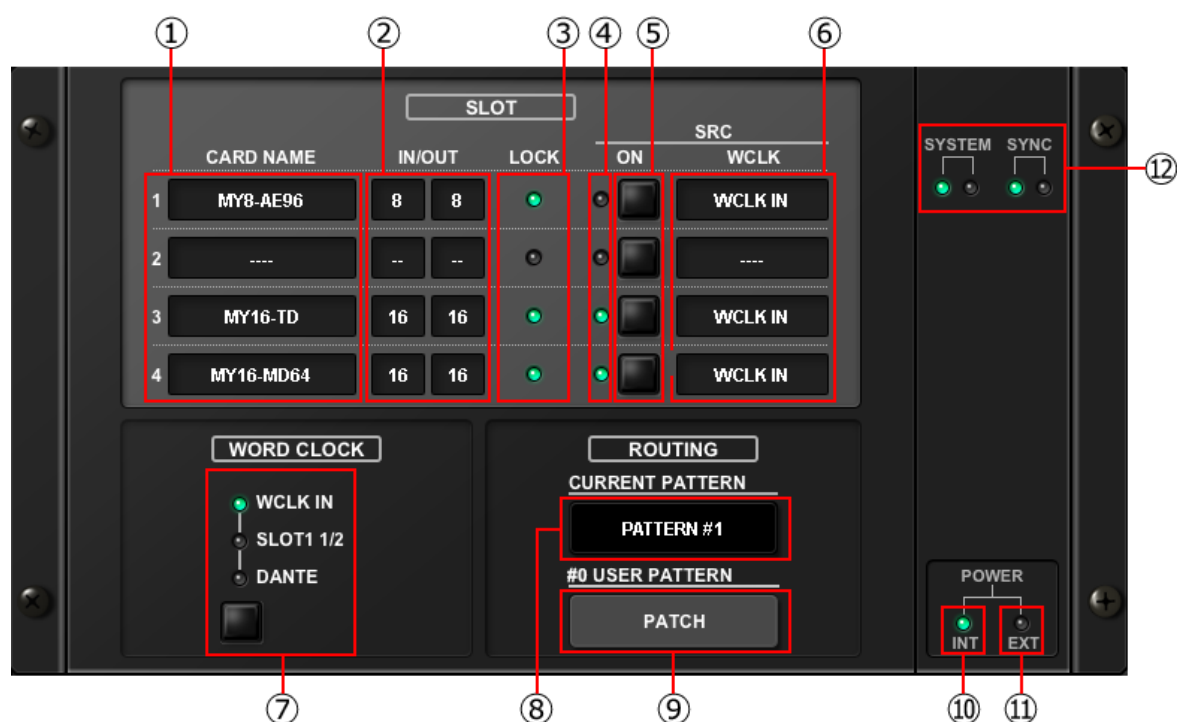
リモートコントロールで操作できるパラメーターについては RMio64-D の取扱説明書の「リモートコントロール」をご参照ください。

- ⑨ **[SYSTEM]インジケーター/[SYNC]インジケーター**

機器の状態や Dante の状態を表示します。マウスカーソルをこの部分に持ってくると、表示の内容をポップアップします。また、デバイスの状態に応じてインフォ ⓘ やアラート ⚠ を表示します。

RSio64-D の場合

RSio64-D の設定を変更できます。



① カード名

スロット 1～4 に装着されている各カードの名前が表示されます。未装着の場合は、" ---- " と表示されます。MY8-AE96 が装着されているとき、カードの内蔵サンプリングコンバーター機能がオンになると、「AE96S(w/SRC)」と表示されます。

② IN/OUT PORT

スロット 1～4 に装着されている各カードの入力ポート数および出力ポート数が表示されます。カードが装着されていない場合は、" - - " と表示されます。

③ SLOT1～4 [LOCK]インジケータ

スロット 1～4 のワードクロックの状態(ステータス)を表示します。正常に動作しているときは、緑色で点灯します。

消灯	スロットにカードが挿入されていない。または未対応のカードが挿入されています。
緑(点灯) LOCK	WORD CLOCK セレクトキーで選択したクロックソースと同期したクロックが、カードから入力されていることを示します。該当するスロットに外部機器が接続されている場合は、その機器と RSio64-D との間で正常に入出力が行われています。なお、サンプリング周波数が近接している場合、非同期であってもこのステータスを示すことがあります。
緑(点滅) SYNC ERROR	カードからは有効なクロックが入力されていますが、WORD CLOCK セレクトキーで選択したクロックソースとは同期していません。該当するスロットに外部機器が接続されている場合、その機器と RSio64-D の間では、正常に入出力が行えません。SRC を ON にすることで正常に入出力を行えます。
赤(点灯) UNLOCK	カードから有効なクロックが入力されていません。該当するスロットに外部機器が接続されている場合、その機器と RSio64-D との間では、正常に入出力を行えません。
赤(点滅) WRONG WORD CLOCK	WORD CLOCK セレクトキーで選択したクロックソースの周波数が、スロットに挿入されたカードの動作周波数範囲外です。クロックソースの周波数をカードの動作範囲内にするか、SRC をオンにしてください。また、アナログカードの場合は、SRC をオンにすることによって、RSio64-D 内蔵の 48 kHz で動作します。

④ SLOT1～4 [SRC]インジケータ

スロット 1～4 の SRC(Sampling Rate Converter)の状態を表示します。

消灯	SRC がオフになっています。
緑(点灯)	SRC がオンで、RSio64-D の SRC WCLK ディップスイッチで選択したクロックが正常に入力されています。
赤(点灯)	SRC はオンになっていますが、適切なクロックが入力されていません。RSio64-D の SRC WCLK ディップスイッチで選択したクロックが入力されていないか、動作範囲外であることが考えられます。SRC をオフにするか、ディップスイッチの設定を変更してください。

NOTE

スロットに挿入した Mini-YGDAI カードへの SRC クロックは、RSio64-D の SRC WCLK ディップスイッチで選択します。

⑤ SLOT1～4 [SRC]ボタン

スロットの IN 側、OUT 側両方の SRC のオン/オフをスロットごとに切り替えます。

⑥ WORD CLOCK ソース

スロット 1～4 の SRC のワードクロックソースを表示します。

SLOT	スロットに挿入されているカードのワードクロック信号を使用している場合。
WCLK IN	リアパネルの WORD CLOCK IN 端子から入力されているワードクロック信号を使用している場合。
CARD	カードの内蔵サンプリングコンバーター機能がオンになっている場合。
----	カードが挿入されていない場合。

⑦ WORD CLOCK セレクトボタン

RSio64-D 本体のワードクロックソースを選択します。

- ・ WORD CLOCK WCLK IN インジケータ
- ・ WORD CLOCK SLOT1 1/2 インジケータ
- ・ WORD CLOCK DANTE インジケータ

RSio64-D 本体のワードクロックソースの状態を表示します。

WCLK IN	RSio64-D のリアパネルの WORD CLOCK IN 端子から入力されているワードクロック信号を使用している場合に点灯します。有効なワードクロック入力がない場合は点滅*1 します。
SLOT1 1/2	RSio64-D のスロット 1 のチャンネル 1/2 のワードクロックを使用している場合に点灯します。有効なワードクロック入力がない場合は点滅*1 します。MY8-AEB 使用時*2 はチャンネル 7/8 のワードクロックを使用します。
DANTE	Dante ネットワークのワードクロック*3 を使用している場合に点灯します(有効な Dante 信号入力がない場合は、内蔵 Dante モジュールが生成するクロックで動作します)。

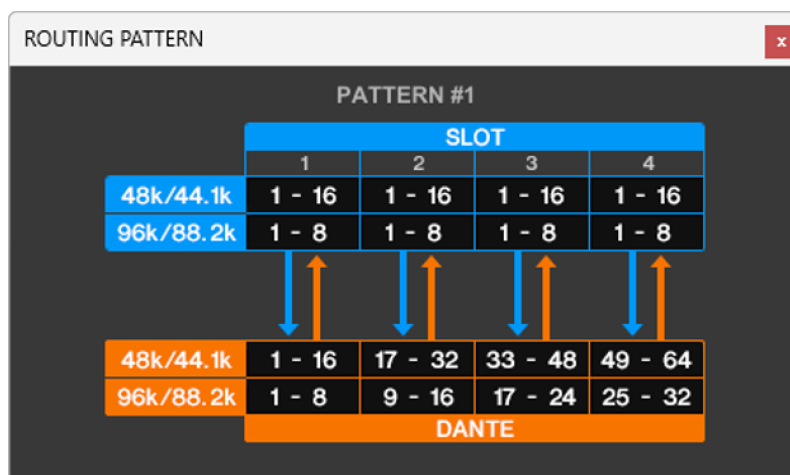
*1 点滅時は Dante ワードクロック*3 で動作し、入出力が行えます。

*2 MY8-AEB を使用する場合は、カードの AE ⇄ RSVD スイッチを RSVD 側に設定してからご使用ください。

*3 Dante ワードクロックの周波数を変更する場合は、Dante Controller を使用してください。

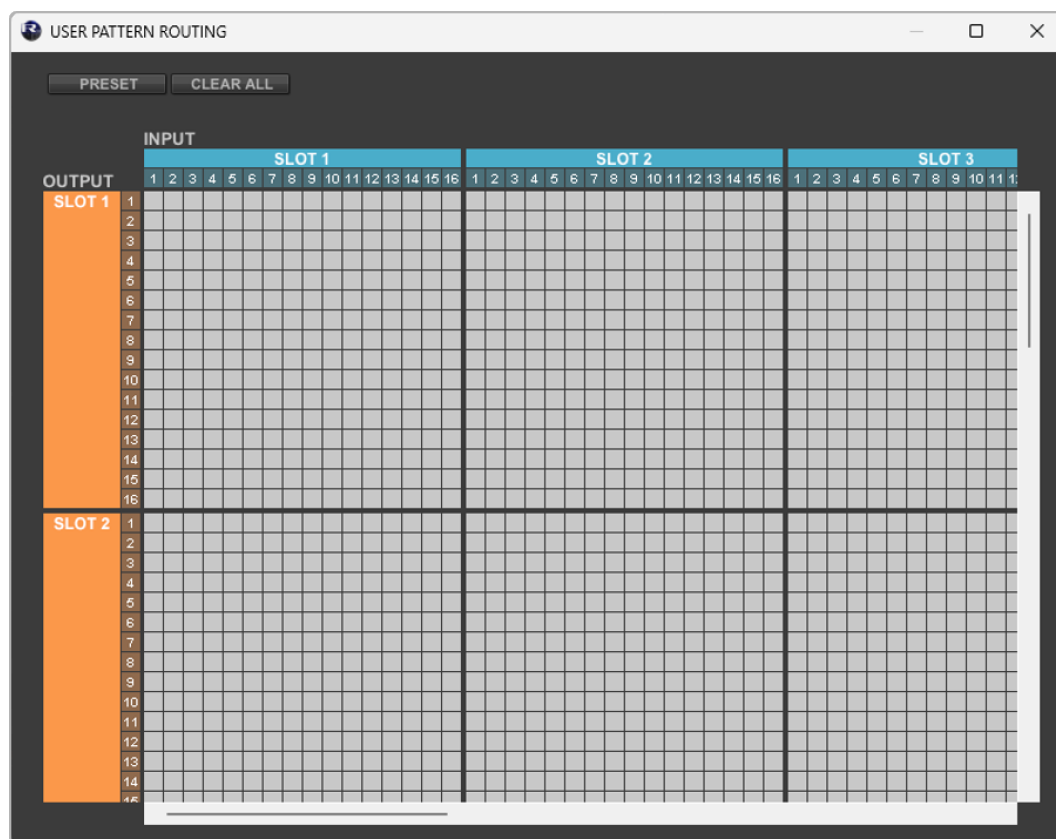
⑧ [CURRENT PATTERN]ボタン

ボタンをクリックすると、RSio64-D 本体内で現在選択されているルーティングパターンを表示します。RSio64-D でルーティングパターンを切り替えた場合は、3 秒経つと反映されます。



⑨ [USER PATTERN]ボタン

ボタンをクリックすると、RSio64-D 本体内のルーティングユーザーパターンを設定する USER PATTERN ROUTING 画面が開きます。



• PRESET ボタン



パッチ編集のテンプレートとして、プリセットパターン 1～7 から選択して呼び出します。

• CLEAR ALL ボタン



パッチのすべてがクリアされます。

⑩ **POWER INT インジケーター**

RSio64-D の AC IN 電源の通電状態を表示します。

⑪ **POWER EXT インジケーター**

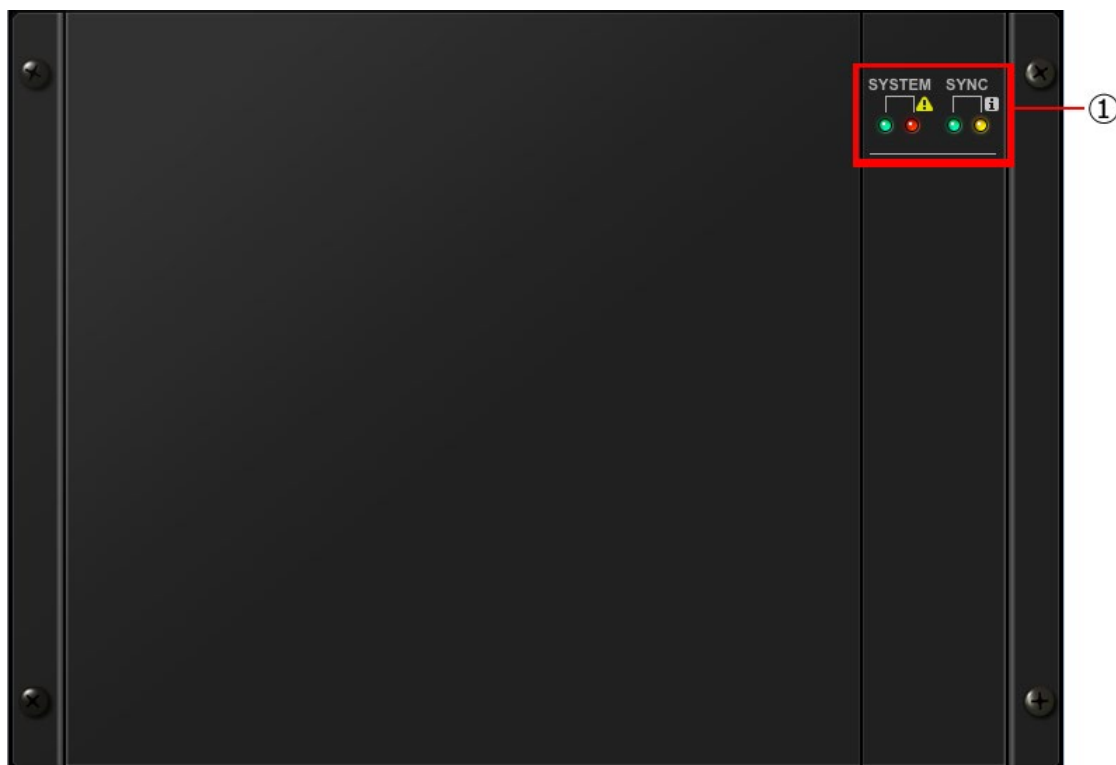
RSio64-D の EXT DC INPUT 電源の通電状態を表示します。EXT DC INPUT 電源が供給されていれば点灯します。

⑫ **[SYSTEM]インジケーター/[SYNC]インジケーター**

機器の状態や Dante の状態を表示します。マウスカーソルをこの部分に持ってくると、表示の内容をポップアップします。また、デバイスの状態に応じてインフォ ⓘ やアラート ⚠ を表示します。

Ro8-D の場合

Ro8-D では操作できる設定がないため、[SYSTEM]インジケータと[SYNC]インジケータのみが表示されます。



① [SYSTEM]インジケータ/[SYNC]インジケータ

機器の状態や Dante の状態を表示します。マウスカーソルをこの部分に持ってくると、表示の内容をポップアップします。また、デバイスの状態に応じてインフォ  やアラート  を表示します。

Edit ウィンドウ (インプット)

機器の HA の詳細設定を表示/設定します。

- ・ [メインエリア](#)(Rio3224-D3,Rio1608-D3 は INPUT 画面時)の操作子以外のところをダブルクリック、または右クリックで[Open Edit Window]を選択すると表示されます。ウィンドウを閉じるときは、Windows は右上の[×]ボタンをクリック、Mac は左上の[×]ボタンをクリックします。
- ・ Edit ウィンドウは、2 画面同時に表示できます(V6.0 以降)。

Rio3224-D3, Rio1608-D3, Rio3224-D2, Rio1608-D2, Rio3224-D, Rio1608-D, Ri8-D, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D, Tio1608-D2, Tio1608-D の場合

Edit ウィンドウ (インプット)



画面は Rio3224-D3 の場合で説明しています。モデルによって表示される項目や表示ポート切り替えタブの数が変わります。

① デバイス名

機器の UNIT ID とデバイス名を表示します。

② [PEAK HOLD]ボタン

このボタンをオンにすると、各レベルメーターのピークが保持されます。オフにすると、保持されていたピークが解除されます。

③ 表示ポート切り替えタブ

表示するポートを切り替えます。

④ ポートインデックス

機器のポート番号が表示されます。マウスの左ボタンを押すと、機器本体の該当ポートのインジケーターが点灯します。

⑤ [+48V]ボタン

ファンタム電源のオン/オフを切り替えます。

⑥ [A.GAIN]ノブ

機器の HA のアナログゲイン量を設定します。現在の設定値はノブの下にある数値ボックスで確認できます。

数値ボックスをダブルクリックすると、キーボードで直接入力できます。また、ノブのすぐ右側にあるレベルメーターで、対応するポートの入力レベルを確認できます。ノブ部分でのショートカットやコンテキストメニューには以下のものがあります。



操作	動作
<Ctrl> (<command>) + クリック	アナログゲイン量を初期値(-6 dB) *にします。
<Ctrl> (<command>) + <Shift> + クリック	アナログゲイン量を 0 dB にします。
右クリック	以下のコンテキストメニューを表示します。 [All Default] 全チャンネルのアナログゲイン量を初期値(-6 dB) *にします。 [All 0dB] 全チャンネルのアナログゲイン量を 0 dB にします。

* RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D の初期値は 0 dB

[A.GAIN]ノブと数値ボックスの選択(ピンクの枠)は、コンピューターの[tab]ボタンで次のチャンネルに移動できます。

⑦ [GC]ボタン (Tio1608-D2, Tio1608-D には表示されません)

オーディオネットワーク上の信号レベルを一定にするゲインコンペンセーションのオン/オフを切り替えます。オンにすると、ゲインコンペンセーションにより固定されたゲイン値が表示され、それ以降のアナログゲインの変更は機器内蔵のコンペンセーションゲインで補正されます。Dante ネットワークには有効にする直前の値に固定されたゲイン量で音声を送出されます。

NOTE

コンペンセーションゲインには限界があります。ノブの左方向には 24 dB、右方向には 48 dB までしか補正しません。たとえば 30 dB でゲインコンペンセーションをかけると、アナログゲインを 6 dB にするまでは補正を維持しますが、アナログゲインを 4 dB にすると送るゲイン値は 28 dB になります。この状態で 6 dB 以上に戻すと、また 30 dB にするための補正をかけます。

⑧ [FREQ]ノブ/[HPF]ボタン

機器の HA に内蔵されているハイパスフィルターのオン/オフ切り替え、およびカットオフ周波数の調節を行います。現在の設定値は、ノブの下にある数値ボックスで確認できます。数値ボックスをダブルクリックすると、キーボードで直接入力できます。

- [FREQ]ノブの上で<Ctrl> (<command>) + クリックをすると、カットオフ周波数が初期値(80 Hz)になります。
- [FREQ]ノブと数値ボックスの選択(ピンクの枠)は、コンピューターの[tab]ボタンで次のチャンネルに移動できます。

Edit ウィンドウ (アウトプット)

Rio3224-D3, Rio1608-D3 のみ

機器のアウトプットの詳細設定を表示/設定をします。

アウトプット画面の操作子以外のところをダブルクリック、または右クリックで[Open Edit Window]を選択すると表示されます。ウィンドウを閉じるときは、Windows は右上の[×]ボタンをクリック、Mac は左上の[×]ボタンをクリックします。

Edit ウィンドウ (アウトプット)



画面は Rio3224-D3 の場合で説明しています。モデルによって表示ポート切り替えタブの数が変わります。

① デバイス名

機器の UNIT ID とデバイス名を表示します。

② [PEAK HOLD]ボタン

このボタンをオンにすると、各レベルメーターのピークが保持されます。オフにすると、保持されていたピークが解除されます。

③ 表示ポート切り替えタブ

表示するポートを切り替えます。

④ ポートインデックス

機器のポート番号が表示されます。マウスの左ボタンを押すと、機器本体の該当ポートのインジケーターが点灯します。

⑤ [φ]ボタン(Polarity ボタン)

出力する信号の位相を切り替えます。

⑥ [GAIN]ノブ

機器のアウトプットゲイン量を設定します。現在の設定値はノブの下にある数値ボックスで確認できます。数値ボックスをダブルクリックすると、キーボードで直接入力できます。
また、ノブのすぐ右側にあるレベルメーターで、対応するポートの出力レベルを確認できます。

ノブ部分でのショートカットには以下のものがあります。

操作	動作
<Ctrl> (<command>) + クリック	アウトプットゲイン量を初期値(0 dB)にします。
<Ctrl> (<command>) + <Shift> + クリック	アウトプットゲイン量を 0 dB にします。

[GAIN]ノブと数値ボックスの選択(ピンクの枠)は、コンピューターの[tab]ボタンで次のチャンネルに移動できます。

⑦ [DELAY]ボタン

ディレイのオン/オフを切り替えます。

⑧ ディレイ設定ノブ

ディレイ値を設定します。現在の設定値はノブの上下にある数値ボックスで確認できます。

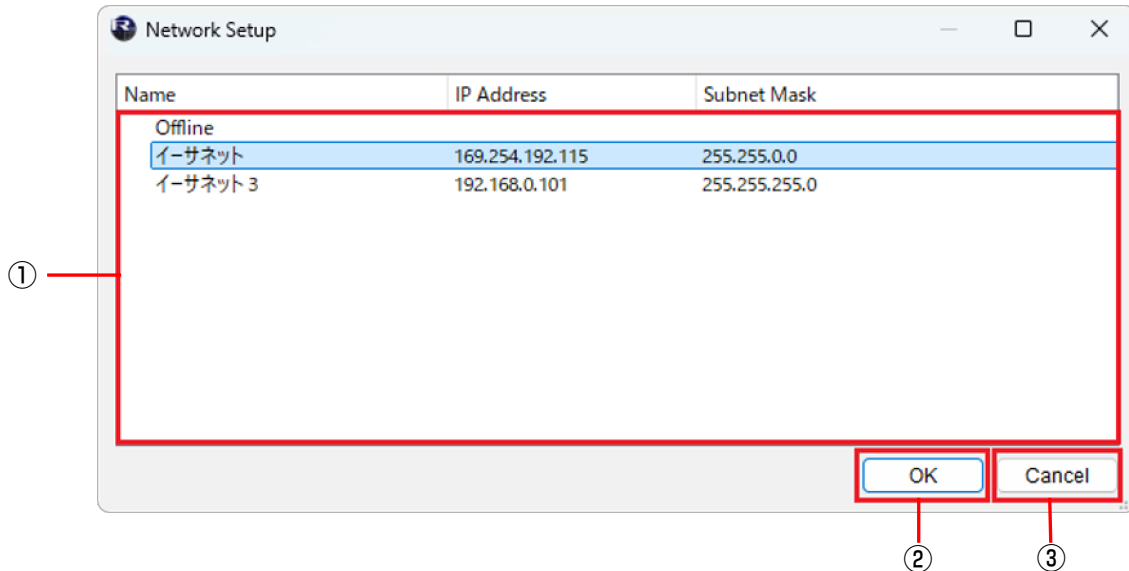
- 数値ボックスをダブルクリックすると、キーボードで直接入力できます。
- DELAY SCALE が ms 以外のときに、ノブ上の数値ボックスに ms 単位を常に表示します(DELAY SCALE が ms のときは非表示)。
- ノブ下の数値ボックスには DELAY SCALE の単位が表示されます。
- ディレイ設定ノブと数値ボックスの選択(ピンクの枠)は、コンピューターの[tab]ボタンで次のチャンネルに移動できます。

「Network Setup」ダイアログ

[File]メニュー > [Network Setup]を選択すると表示されます。

デバイスと通信するためのコンピュータのネットワークインターフェースカード(以下「ネットワークカード」と呼びます)を選択します。

注記 ネットワークカードを変更すると、各種パラメーター設定が初期化されます。変更前の設定をあとで使う場合は、設定をファイルに保存してからネットワークカードを変更してください。



① ネットワークカードリスト

デバイスと通信するためのネットワークカードを選択します。ネットワークカードをダブルクリックすると、ダブルクリックしたネットワークカードに設定してダイアログが閉じます。

デバイスをつなぐずに設定のみをする場合は、[Offline]を選択してください。[Online]の状態ではネットワークカードを選択すると、接続されているネットワークに負荷がかかります。

② [OK]ボタン

設定を更新し、ダイアログを閉じます。

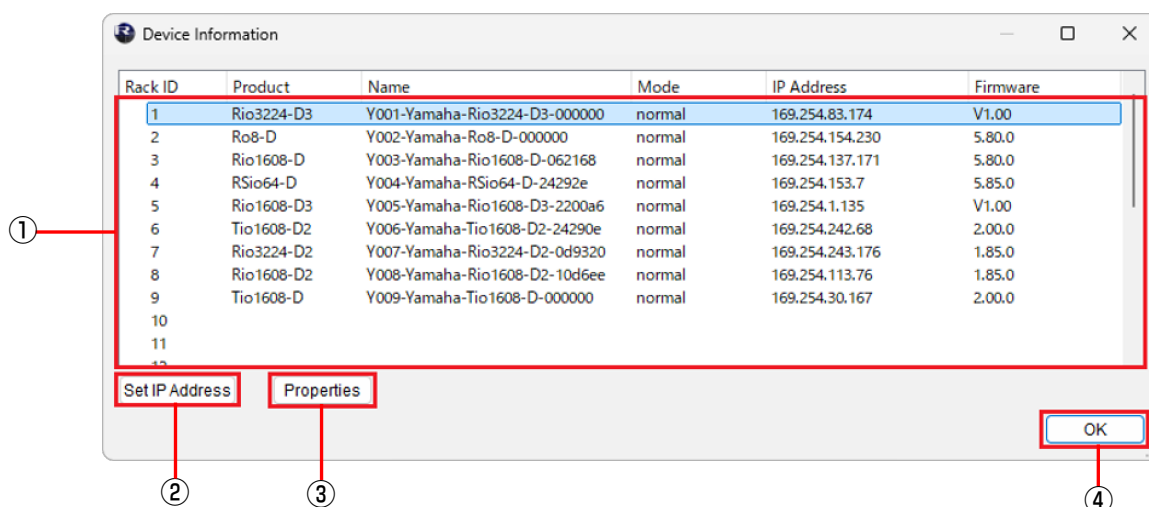
③ [Cancel]ボタン

設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

「Device Information」ダイアログ

[File]メニュー > [Device Information]を選択すると表示されます。

接続されているデバイスの情報の一覧を表示します。



① 機器リスト

Rack ID などの項目名の部分を右クリックすると、表示する項目を選択できます。

Rack ID	Rack ID が表示されます。
Product	デバイスのモデル名が表示されます。
Name	デバイスの機器名が表示されます。この名前は Dante Controller で変更できます。
Mode	デバイスの Run Mode が表示されます。
IP Address	デバイスに設定されている IP アドレスが表示されます。
Port No.	デバイスの通信用ポート番号が表示されます。
Firmware	機器本体ファームウェアのバージョンが表示されます。

② [Set IP Address]ボタン

クリックすると、選択している機器の [「IP Address」ダイアログ](#)が表示されます。

③ [Properties]ボタン

クリックすると、選択している機器の [「Properties」ダイアログ](#)が表示されます。

④ [OK]ボタン

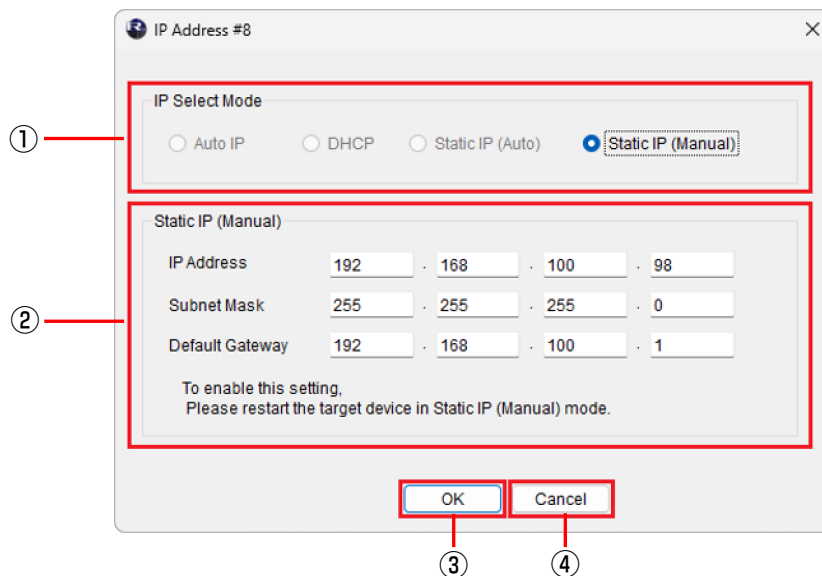
ダイアログを閉じます。

「IP Address」 ダイアログ

「Device Information」ダイアログで[Set IP Address]ボタンをクリックすると表示されます。
機器の IP Select Mode の確認や、Static IP (Manual)の機器の IP アドレスなどの設定をします。

NOTE

- ・ [RMio64-D](#) は、このダイアログで IP Select Mode を設定します。この設定はファームウェア V4.10 以降で有効です。
- ・ [Rio3224-D3](#), [Rio1608-D3](#), [RUio1608SB-D](#), [RUio0804-D](#), [RUio16FLX-D](#) は、Dante Port、NW Port のそれぞれを設定可能です。



① IP Select Mode

機器の IP SELECT MODE が表示されます。

② Static IP (Manual)

機器の IP SELECT MODE が Static IP (Manual)で起動されたときに使用する IP アドレスなどを設定します。

③ [OK]ボタン

設定を保存し、ダイアログを閉じます。

ここで設定した IP アドレスに変更する場合は、機器のディップスイッチを Static IP (Manual)の設定にしたあと、機器を再起動してください。

④ [Cancel]ボタン

設定内容を無効にし、ダイアログを閉じます。

Static IP(Manual)で使用する手順

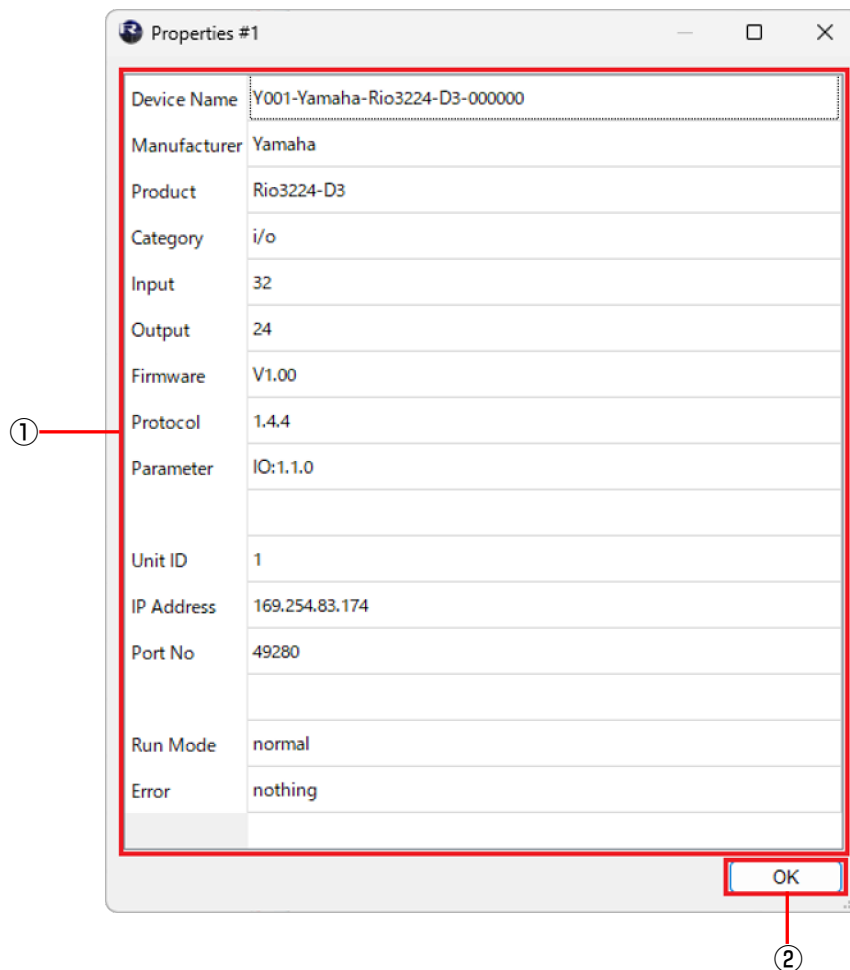
以下の手順で設定してください。(RMio64-D を除く)

1. デバイスを Static IP (Manual)以外のモードで起動する。
2. R Remote を起動する。
3. 「Device Information」ダイアログで、Static IP (Manual)にしたい機器を選択する。
4. 「IP Address」ダイアログで Static IP (Manual)を選択し、必要な情報を入力する。
5. [OK]ボタンをクリックする。

6. デバイスを Static IP (Manual)モードの設定にして、再起動する。

「Properties」ダイアログ

「Device Information」ダイアログで[Properties]ボタンをクリックすると表示されます。
接続されている機器の情報を表示します。



① [Information]表示部

機器の情報を表示します。機器が繋がっていない場合は、情報が表示されません。

② [OK]ボタン

ダイアログを閉じます。

「Meter」画面

[File]メニュー > [Meter (1Line)]または[Meter (2Line)]を選択すると表示されます。

アサインされていないデバイスのメーターや、対象外のデバイスのメーターは表示されません。

NOTE

RUio16FLX-Dの場合、INPUT 設定の CH 以外のメーターは、グレーアウト表示になります。

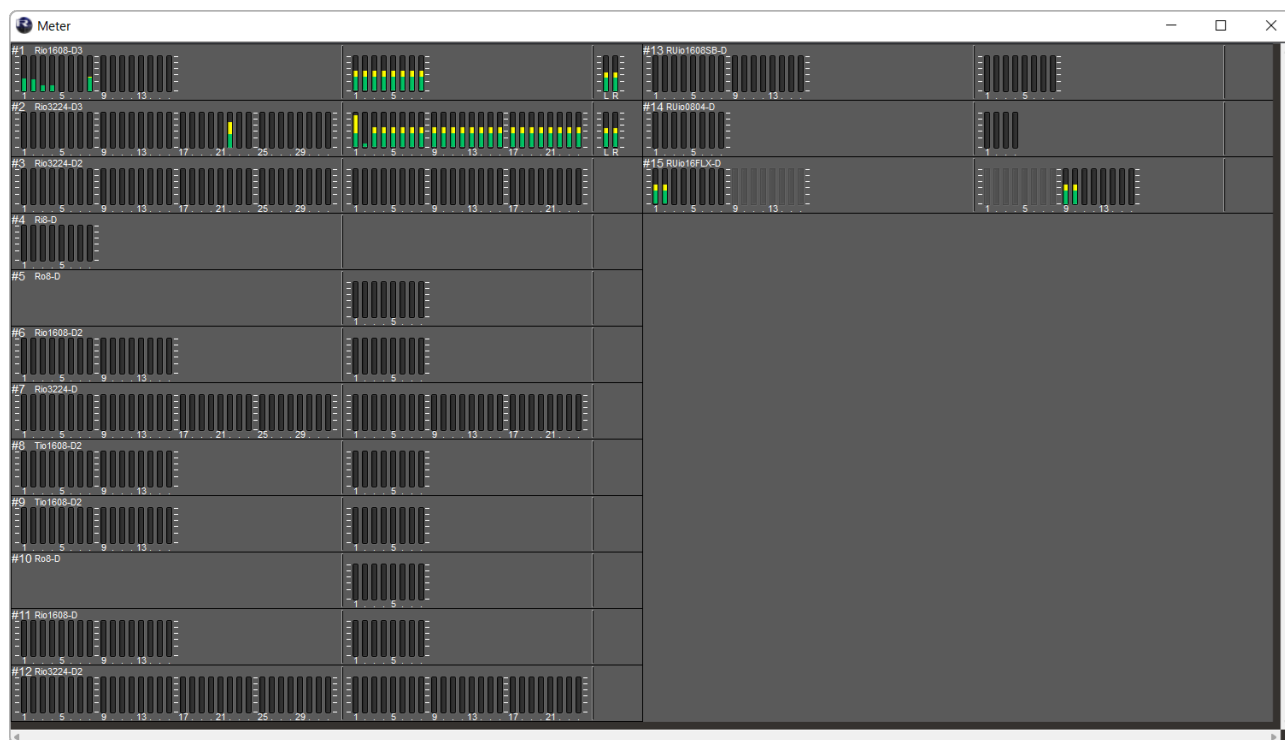
1 列表示モード(Meter (1Line))

[Meter (1Line)]を選択すると、アサインされている各デバイスのメーターを 1 列で縦に並べて表示します。縦にスクロールし、アサインされている全デバイス 24 までを表示できます。



2 列表示モード(Meter (2Line))

[Meter (2Line)]を選択すると、アサインされている各デバイスのメーターを2列で縦に並べて表示します。スクロールしないですべてのデバイスを一覧できます。



ファームウェアをアップデートする

R Remote (V7.0)を使用して、ファームウェアをアップデートする手順を説明します。

ご注意(必ずお読みください)

アップデート作業中(データのロード中)に機器の電源を切ったり、ケーブルを抜いたり、このユーザーガイドに記載された手順と異なった操作を行うと、機器が故障する場合がありますのでご注意ください。

アップデートの流れ

- 1 [ファームウェアをアップデートする動作環境を確認する\(P.4\)](#)



- 2 [デバイスとコンピューターの接続\(P.44\)](#)



- 3 [コンピューターのネットワーク設定を行う\(P.15\)](#)

NOTE

RMio64-D のファームウェアをアップデートするには、IPv6 が有効になっている必要があります。



- 4 [アップデートを行う\(P.48\)](#)

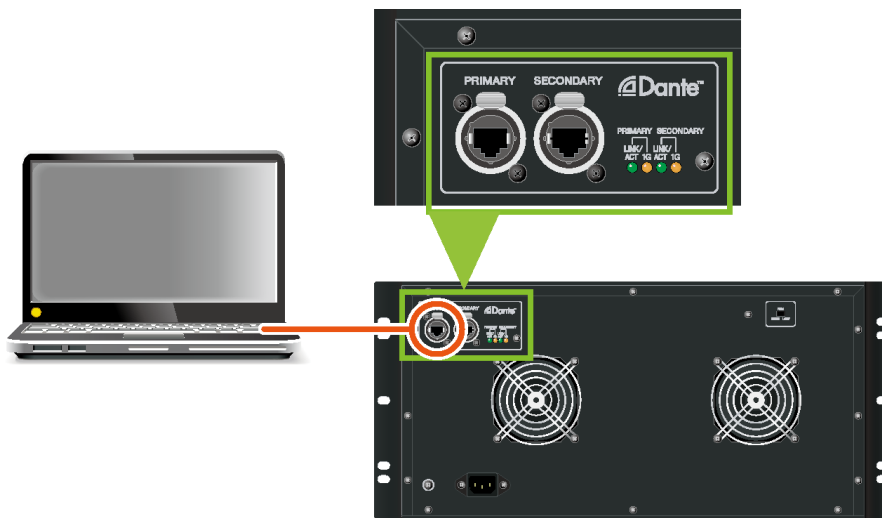
デバイスとコンピューターの接続

アップデートを行う対応デバイスの Dante [PRIMARY]端子に、コンピューターを直接接続してください。

ただし、Rio3224-D3, Rio1608-D3, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D で、コントロールにネットワーク端子を使用している場合は、ネットワーク端子をそのまま使用することもできます。

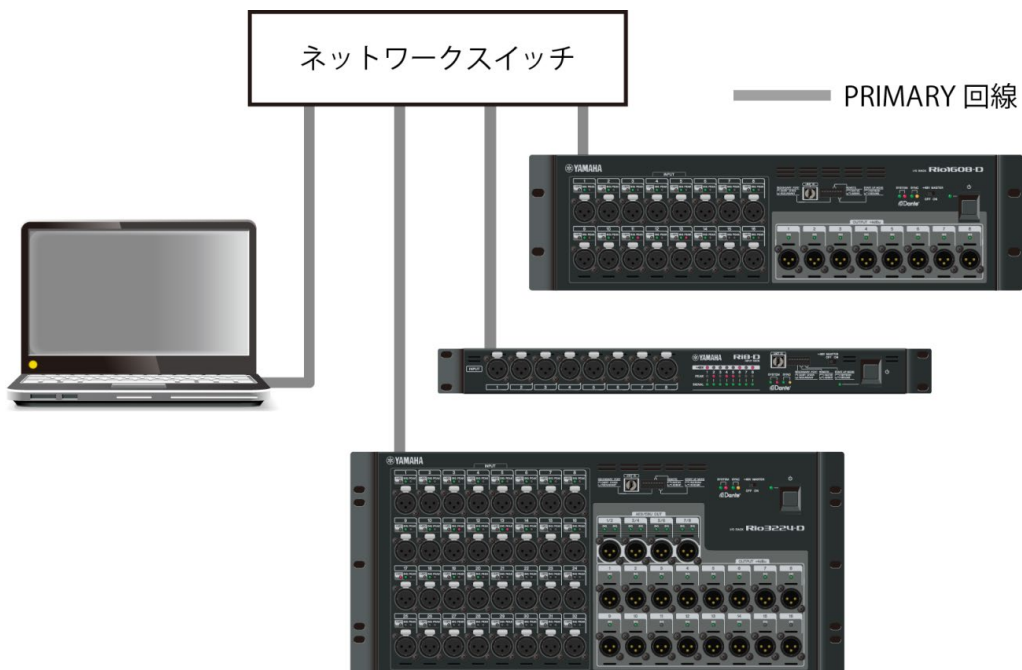
NOTE

- ・ アップデートするデバイスに Dante Device Lock が掛かっている場合、Dante ファームウェアを更新できません。デバイス本体のファームウェアは、Dante Device Lock が掛かっている場合でも更新できますが、Dante Device Lock を解除するまで Dante Controller や CL,QL,RIVAGE PM, DM7, DM5, DM3 の I/O DEVICE 画面にはアップデート前のバージョンが表示されます。Dante Controller で Dante Device Lock を解除してください。
- ・ アップデートするデバイスが DANTE DOMAIN MANAGER の DOMAIN に参加している場合は、DOMAIN から外し、デバイスとコンピューターを同じサブネットに接続してください。



※Rio3224-D の接続例です。

DANTE ネットワーク上に複数の対応デバイスが存在する場合でも、そのネットワークの DAISY CHAIN 回線のどこか、もしくは REDUNDANT の PRIMARY 回線のどこかにコンピューターを接続してアップデートできます。



ネットワーク設定

接続するコンピュータのネットワークを「[コンピュータの IP アドレスを設定する](#)」に従って設定してください。R Remote からデバイスをコントロール可能な状態で、アップデートを実行してください。

ネットワーク接続の詳細と注意事項については下記 URL をご参照ください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

R Remote Firmware Updater

デバイスのファームウェアをアップデートする画面です。

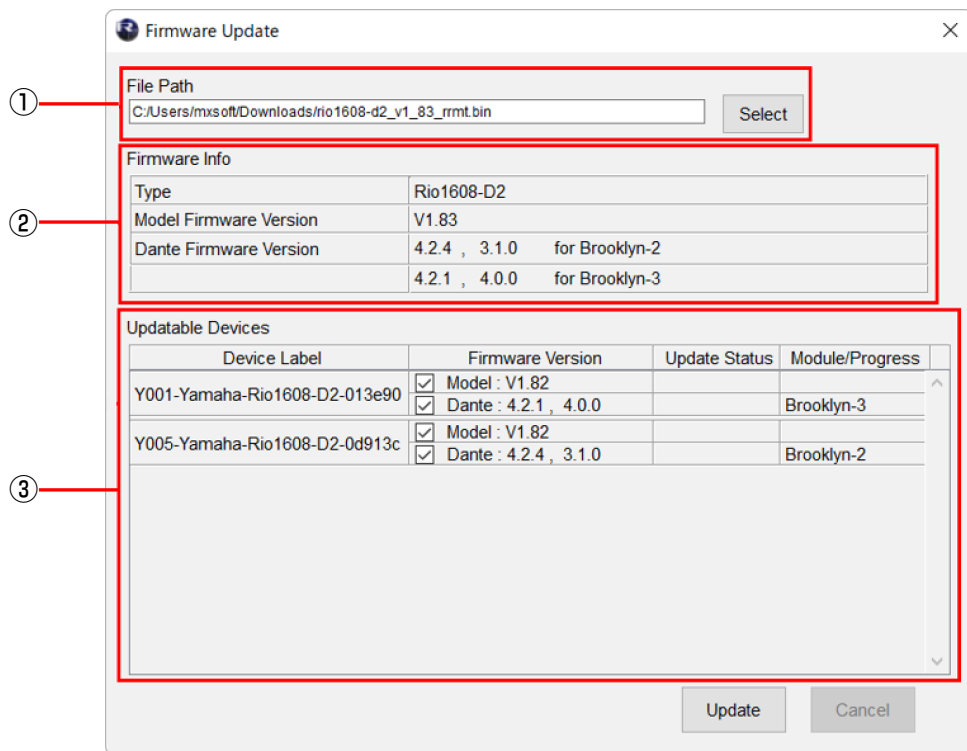
各モデルには、本体用ファームウェアと Dante 用ファームウェアがあります。モデルによって、本体用ファームウェアと Dante 用ファームウェアが分かれている場合と、一体になっている場合があります。いずれの場合も、R Remote を使用し、1 つのアップデートファイル (.bin) でアップデートを行います。

本体用と Dante 用のファームウェアが分かれているモデル	Rio3224-D, Rio1608-D, Ri8-D, Ro8-D, RSio64-D, RMio64-D Rio3224-D2, Rio1608-D2 Tio1608-D, Tio1608-D2
本体用と Dante 用のファームウェアが一体になっているモデル	Rio3224-D3, Rio1608-D3, RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D

NOTE

- ・ 本体用と Dante 用のファームウェアが一体になっているモデルの場合は、R Remote Firmware Updater の画面で、Dante Firmware の情報が表示されません。
- ・ アップデートするデバイスが DANTE DOMAIN MANAGER の DOMAIN に参加している場合、Dante ファームウェアはアップデートできません。

ファームウェアのアップデートを行う R Remote Firmware Updater の画面は下記です。



Brooklyn2/Brooklyn3 を含むファームウェア読み込み時

① File Path(ファイル選択エリア)

アップデートするファームウェアを選択、表示するエリアです。

NOTE

Tio1608-D と Tio1608-D2 は、共通のファイルを使用します。V2 以前のファームウェアは書き込めません。また、Tio1608-D2 をアップデートする場合は、Tio1608-D Compatibility Mode を解除した状態で実行してください。

② Firmware Info(ファイル情報エリア)

選択したファームウェアの情報を表示するエリアです。

③ Updatable Devices(デバイス情報エリア)

アップデートするデバイスの情報を表示するエリアです。

Device Label(デバイス名)、Firmware Version(ファームウェアのバージョン)、Update Status(ステータス)が表示されます。

NOTE

デバイスが DANTE DOMAIN MANAGER の DOMAIN に参加している場合、情報が取得できないため Dante ファームウェアのバージョンは表示されません。

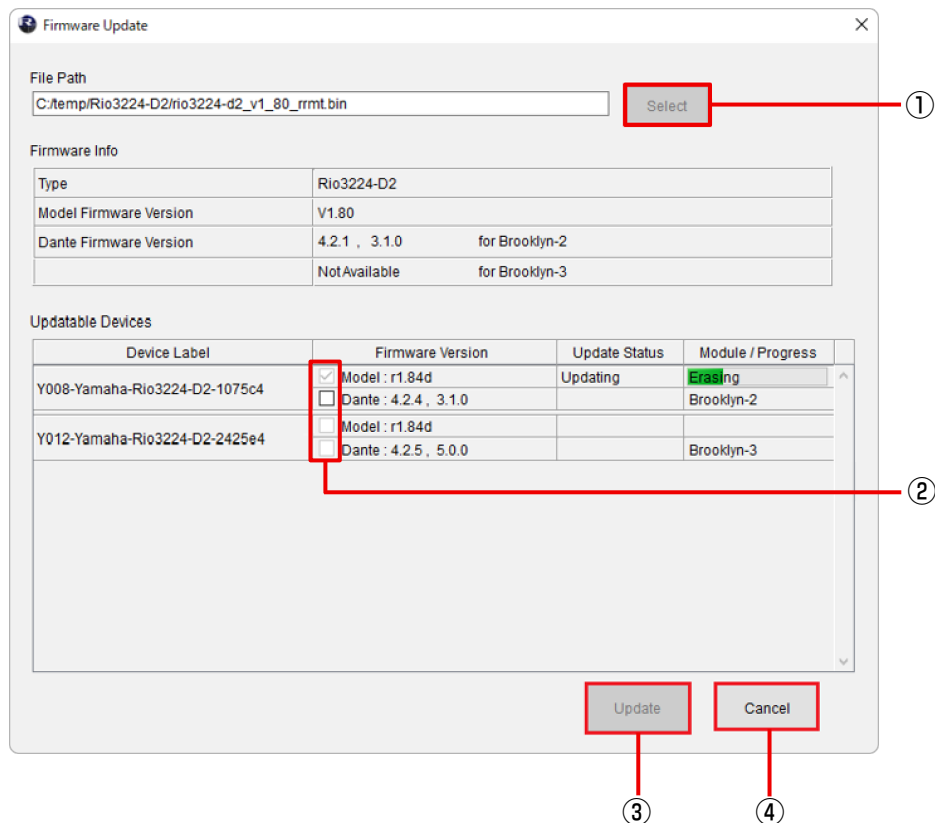
• Update Status(ステータス)

メッセージ	内容
Waiting	アップデート開始待ちです。
Updating	アップデート中です。
Cancelled	アップデートがキャンセルされました。
Finished	アップデートが完了しました。(デバイスを再起動する必要があります)
Completed	アップデートが完了し、デバイスのバージョンが更新されました。
Failed	アップデートに失敗しました。

• Module / Progress

Model:	Rio3224-D3, Rio1608-D3: Transferring(データ転送) → Writing(データ書き込み中) RMio64-D: Writing(データ書き込み中) Rio3224-D2, Rio1608-D2, Rio3224-D, Rio1608-D, RSio64-D, Ri8-D, Ro8-D, RUio1608SB-D, RUio16FLX-D, RUio0804-D, Tio1608-D2, Tio1608-D: Erasing(データ消去中) → Transferring(データ転送、書き込み中)
Dante: (本体用と Dante 用のファームウェアが分かれているモデルの場合のみ表示)	デバイス読み込み時: Brooklyn2/Brooklyn3(モジュール種別を表示) アップデート中: Transferring(データ転送中) → Writing(データ書き込み中)

注記 データ書き込み中には、絶対にデバイスの電源を切ったり、ネットワークケーブルを抜いたりしないでください。アップデート中のファームウェアが破損し、デバイスを正常に起動できなくなります。



Brooklyn2 のみを含むファームウェア読み込み時

① [Select]ボタン

アップデートするファームウェアが含まれるファイルを選択します。ファイルには、本体用と Dante 用のファームウェアが含まれています。

モデル	ファイル名
Rio3224-D3, Rio1608-D3	Rio-D3_firmware_v*.*.bin
Rio3224-D, Rio1608-D, Ri8-D, Ro8-D, RSio64-D, RMio64-D Rio3224-D2, Rio1608-D2	xxxx_v*_*_*_rrmt.bin
RUio1608SB-D, RUio0804-D, RUio16FLX-D	RUio-D_firmware_V*.*.bin
Tio1608-D, Tio1608-D2	tio-d_v*_*_*_rrmt.bin

xxxx はデバイス名を表します。*_* (または*.*) はファームウェアバージョンを表します。
(例 : rio3224-d_v4_10_rrmt.bin)

NOTE

[Select] ボタンがグレースアウトされて選択できない場合は、Dante に使用するネットワークインターフェースが正しく設定がされていない可能性があります。Dante Controller の Configuration of Dante Interface で適切なネットワークインターフェースを選択し Dante Controller からアップデートするデバイスが確認できるようにしてください。

② チェックボックス

デバイスごとに、本体ファームウェア(Model)/Dante ファームウェアをアップデートするかどうかを選択します。チェックボックスがグレースアウトしているファームウェアはアップデートができません。

NOTE

- Firmware Info(ファイル情報エリア)の Dante ファームウェアに "Not Available" と表示されている Dante モジュール搭載デバイスは、モデルのファームウェアもアップデートできないためチェックボックスがグレースアウトされます。
- Rio3224-D3, Rio1608-D3 でファームウェアが V1.03 以前の場合は、R Remote V7.0 でのアップデートに対応していないため、チェックボックスがグレースアウトの状態では選択できません。詳しくは[対応モデル・対応バージョン](#)をご参照ください。

③ [Update]ボタン

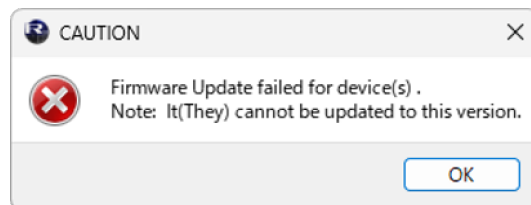
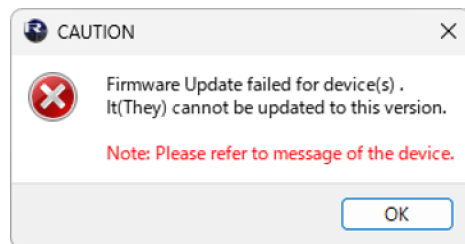
アップデートを開始します。

NOTE

Rio3224-D2, Rio1608-D2 では、基板の変更対応を本体ファームウェア (Model) の V1.80 以降で実装しています。そのため、バージョンが V1.80 以降でそのバージョン未満にはダウングレードできない場合があります。その場合は、[Update]ボタンを押した後にダウングレードができないとメッセージが表示されます。

NOTE

Tio1608-D2 は V2.0 未満にはダウングレードできません。[Update]ボタンを押した後にダウングレードできないメッセージが表示されます。



④ [Cancel]ボタン

アップデートが開始されていないデバイスのアップデート作業を中止します。

アップデート手順

ファームウェアをアップデートする手順を説明します。

ファームウェアは下記ウェブサイトからダウンロードできます。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

1. R Remote のメニューから [Tool] > [Firmware Update] を選択します。

Firmware Updater が起動します。

2. (RMio64-D の場合) NUAGE Workgroup Manager が起動しているときは終了します。

3. [Select]ボタンを押して、アップデートするファームウェアを選択します。

[Updatable Devices\(デバイス情報エリア\)](#) にアップデート可能なデバイスが表示されます。

NOTE

デバイスの IP アドレスおよびコンピューターの IP アドレスを同一サブネットに設定してください。本体用ファームウェアと Dante 用ファームウェアが分かれているモデルの場合は Dante モジュールの IP アドレスも同一サブネットに設定する必要があります。固定 IP や DHCP サーバーによるアドレス設定をしているネットワークでは、設定を確認してください。

NOTE

R Remote 非対応の古いファームウェアを選択した場合「Invalid file.」と表示され、アップデートできません。

NOTE

選択したファイルに含まれるファームウェアが、デバイスのファームウェアよりも新しい場合、そのファームウェアのチェックボックスは自動的にチェックされます。選択したファイルに含まれるファームウェアが、デバイスのファームウェアよりも古い場合、そのファームウェアのチェックボックスを手動でチェックする必要があります。

NOTE

アップデートするファームウェアが選択されると、ユーザーフォルダー内に一時的に「RRMT_****」というフォルダーが生成されます。このフォルダー内のフォルダーやファイルはアップデートに使用されますので移動や削除をしないでください。これらのフォルダーやファイルは「R Remote Firmware Updater」を閉じると自動的に削除されます。

4. [Update]ボタンを押して、アップデートを開始します。

5. アップデートが完了したら、ポップアップ画面が表示されますので、[OK]ボタンを押します。

6. 新しいファームウェアを有効にするため、アップデートが完了したデバイスの電源を入れ直します。

正しくアップデートされると、R Remote Firmware Updater の「Update Status」が「Finished」から「Completed」に変わります。

デバイスの発見と喪失について

アップデートファイルを選択すると、ネットワーク上に発見されたすべてのデバイスの中から、ファイルが対応するデバイスがリストアップされてデバイス情報エリアに表示されます。

また、その後アップデートを開始する前までは、新たに発見された対応デバイスも随時リストに追加されます。

逆に、ネットワークケーブルが抜けるなどして R Remote がデバイスを喪失した場合、そのデバイスのバージョン表示部分(Firmware Version)には "Disconnected" と表示されます。

ファームウェアのアップデートに失敗した場合

対象モデル	Rio3224-D2, Rio1608-D2, Rio3224-D, Rio1608-D, RMio64-D, RSio64-D, Ri8-D, Ro8-D, Tio1608-D2, Tio1608-D
-------	---

ファームウェアのアップデートに失敗しても、R Remote がデバイスを認識していれば、何度でもやり直せます。ただしアップデート中にデバイスの電源が切れてしまった場合、デバイスが正常に起動できなくなります。その場合は、R Remote のデバイス情報エリアにデバイスが表示されなくなり、症状に従って下記の対処が必要になります。

Dante Controller のネットワークグリッドビューでデバイス名が赤色で表示される場合

→ Dante のファームウェアがフェイルセーフモードに入っています。

Dante Controller に付属する Dante Updater を使って、Dante ファームウェアの復旧と最新 Dante ファームウェアのインポートおよびアップデートを実施してください。

1. ファームウェアから Dante ファームウェアを取得できます。

2. R Remote を起動し、「[アップデート手順](#)」の手順 1 から 3 を実行します。(初回のみ)

ユーザーフォルダー内に一時的に「RRMT_****」というフォルダーが生成されます。

NOTE

Dante Updater での Dante ファームウェアインポートが完了するまで R Remote Firmware Update のウィンドウを閉じないでください。

詳細手順は [Dante ファームウェアアップデートガイド](#) の「フェイルセーフモードについて」および「ファームウェアを更新する」をご覧ください。

デバイスのインジケーター(赤)が点灯または点滅している場合

→ 本体のファームウェアが破損しています。

R Remote のインストーラーでインストールできる R Remote Recovery Updater を使って、本体のファームウェアをアップデートしてください。

R Remote Recovery Updater の対応モデル

Rio3224-D2, Rio1608-D2, Rio3224-D, Rio1608-D, RSio64-D, Ri8-D, Ro8-D, Tio1608-D2, Tio1608-D

NOTE

上記以外のモデルは、R Remote Recovery Updater に対応していません。修理ご相談センターにご連絡ください。

アップデート方法は、以下の通りです。

1. デバイスの電源を切ります。

2. 以下のモデルの場合は、デバイスのディップスイッチの設定をメモします。

ディップスイッチモデル

Rio3224-D, Rio1608-D, RSio64-D, Ri8-D, Ro8-D, Tio1608-D2, Tio1608-D

手順5でディップスイッチの設定を変更します。アップデート完了後に元に戻しますので、変更前のディップスイッチの設定をメモしておいてください。

3. デバイスの Dante [PRIMARY]端子と[SECONDARY]端子から Ethernet ケーブルを外します。

4. デバイスの Dante [PRIMARY]端子とコンピューターの Ethernet 端子を Ethernet ケーブルで直接接続します。

5. 以下の通りに電源を入れます。

- Rio3224-D2, Rio1608-D2 の場合：
▶ (INC) ボタンとスイッチ付きエンコーダーを押したまま電源を入れます。
- ディップスイッチモデルの場合：
ディップスイッチの 8 を下側(ON)に設定し、それ以外は上側(OFF)に設定して、電源を入れます。

デバイスがアップデートモードで起動します。アップデートモードで起動すると、以下の通り動作します。

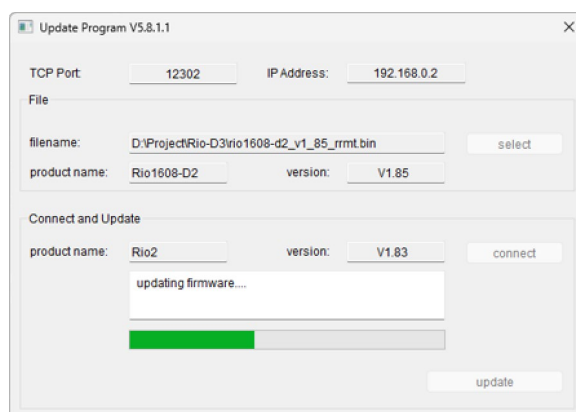
Rio3224-D2, Rio1608-D2, Rio3224-D, Rio1608-D, Ri8-D	すべての+48V インジケータが点滅します。
Ro8-D	[SYSTEM]インジケータの右側(赤)と[SYNC]インジケータの右側(橙)が点滅します。
RSio64-D	SLOT、WORD CLOCK のすべての赤インジケータ、SYSTEM 右側の赤インジケータと SYNC 右側の橙インジケータが点灯します。
Tio1608-D, Tio1608-D2	STATUS INPUT / OUTPUT インジケータが点滅します。

6. コンピューター本体の IP アドレスとサブネットマスクを以下のように設定します。

IP アドレス	192.168.0.101
サブネットマスク	255.255.255.0

設定方法についての詳細は「[コンピューターの IP アドレスを設定する](#)」をご参照ください。

7. R Remote Recovery Updater を起動します。



8. [select]ボタンを押して、アップデートするファームウェア「xxxx_v*_**_rrmt.bin」を選択します。

NOTE

xxxx はデバイス名を表します。*_*はファームウェアバージョンを表します。(例：rio3224-d_v4_10_rrmt.bin)

NOTE

R Remote 非対応の古いファームウェアを選択した場合「Invalid file.」と表示され、アップデートできません。この場合は、古いファームウェアと同じ圧縮ファイルに含まれている専用のアップデーターを使って本体ファームウェアをアップデートしてください。アップデート方法の詳細は、各デバイス専用アップデーターのアップデートガイドをご参照ください。

9. [connect]ボタンを押します。

「Connect and Update」欄にデバイス名とファームウェアバージョンが表示されます。

10. [update]ボタンを押して、アップデートを開始します。

アップデート中は、「Updating firmware....」と表示されます。

11. アップデートが完了したら、R Remote Recovery Updater を閉じます。

アップデートが完了すると、「Connect and Update」欄に「Update was completed. Close this Update Program.」と表示されます。

12. デバイスの電源を切ります。

13. ディップスイッチモデルは、デバイスのディップスイッチの設定を戻します。

メッセージ一覧

アップデート中にポップアップ画面で表示されるエラー/警告/確認のメッセージは下記です。

■エラーメッセージ

メッセージ	内容	対応方法
Cannot unpack the file. File path may be too long. Make sure that the file path is less than 260 characters.	ファイルの一時展開に失敗しました。 ファイルの置き場所（パス）の文字数が多すぎます。	ファイルを C:\temp などの階層の浅い場所に移動してください。
Cannot unpack the file. User directory cannot be edited. Make sure that edits to this directory are permitted.	ファイルの一時展開に失敗しました。 ユーザーディレクトリ等の書き込みが不可になっています。	ユーザーディレクトリのアクセス権を書き込み可能な設定に変更してください。
Invalid file. Select a valid file.	不正なファイル、あるいは非対応のファイルが選択されました。 以前のファームウェアファイルと異なり、R Remote 対応のファームウェアファイルには、デバイス本体と Dante の両方のファームウェアがひとつのファイルに含まれています。	正しいファイルを再選択してください。 R Remote 対応のファイル名には「rrmt」の文字が含まれています。
Unexpected error occurred. Please restart the R Remote software and try again.	予期しないエラーが発生しました。	R Remote を起動し直して、再度アップデートを試みてください。
Dante Control and Monitoring service not found. Make sure that the Dante Controller is installed and the service is running. Then restart R Remote software.	Dante Control and Monitoring サービスが起動していません。	Dante Controller がインストールされていることを確認してください。
Firmware update failed for device(s). Check network connection and try again.	ひとつ以上のデバイスのアップデートが失敗しました。	・ コンピューターのネットワーク設定 (15 ページ)、およびネットワーク接続を確認して、再度アップデートを試みてください。 ・ アップデートするデバイスに Dante Device Lock が掛かっている場合、Dante ファームウェアを更新できません。この場合は、Dante Controller で Dante Device Lock を解除してから再度アップデートを試みてください。 ・ アップデートするデバイスとコンピューターをネットワーク経由で接続している場合、デバイスの Dante [PRIMARY]端子とコンピューターを直接接続してから再度アップデートを試みてください。
Dante Network Setting Failed. Check Dante Interfaces and try again.	Dante Firmware Update のためのネットワーク設定に失敗しました。	Dante Controller で Dante Interface 設定を行ってください。設定方法は、Dante Controller に付属のマニュアルを確認してください。

■警告メッセージ

メッセージ	内容
Update in progress. Wait until update is completed.	アップデート中に[X]ボタンが押されました。 アップデート完了までお待ちください。

■確認メッセージ

メッセージ	内容
Cancel update? This will cancel the update of all waiting devices.	アップデート中に[Cancel]ボタンが押されました。 アップデートを終了する場合は[はい(Y)]ボタンを、アップデートを継続する場合は[いいえ(N)]ボタンを押してください。
Close? One or more devices have not been updated yet.	アップデート失敗しているデバイスがある状態で [X]ボタンが押されました。 ウィンドウを閉じる場合は[はい(Y)]ボタンを、継続する場合は[いいえ(N)]ボタンを押してください。
Select file? One or more devices have not been updated yet.	アップデート失敗しているデバイスがある状態でファイル選択ボタンが押されました。 ファイル選択を行う場合は[はい(Y)]ボタンを、行わない場合は[いいえ(N)]ボタンを押してください。

■その他のメッセージ

メッセージ	内容
New updatable device found.	アップデート可能なデバイスが発見されました。
Firmware update successfully completed.	すべてのアップデートが成功しました。

困ったときは

症状	原因	対策方法
デバイスが接続されない。	デバイスの電源スイッチがオンになっていない。	電源スイッチをオンにしてください。
	デバイスのディップスイッチの設定が正しくない。	「 デバイスの設定をする 」を見て、適切な設定にしてください。
	ケーブルが正しく接続されていない。	橙色の[SYNC]インジケータが点滅している場合、ケーブルが断線しているか、正しく接続されていないことを表します。ケーブルを正しく接続してください。
		REDUNDANT モードの場合、[PRIMARY]端子に接続されているネットワークスイッチに接続してください。
	コンピューターの IP アドレス設定が正しくない。	コンピューターの IP アドレスをデバイスのディップスイッチ設定に合わせて設定してください。
	ネットワークカードの選択が間違っている。	「 Network Setup 」ダイアログで、デバイスと通信するネットワークカードを選択してください。
	ファームウェアが古い。	各デバイス専用のアップデーターを使って、R Remote に対応したファームウェアにアップデートしてください。R Remote 対応ファームウェアのバージョンは「 動作環境および動作条件 」を参照してください。
	R シリーズが AD8HR モードになっている。	ディップスイッチ 5 と 6 は上にして、NATIVE モードにしてください。
	DANTE DOMAIN MANAGER などによって、デバイスがコンピューターとは別のサブネットに接続されている。	デバイスとコンピューターを同じサブネットに接続してください。
音が入力されない/入力レベルが小さい。	HA のゲインが適切なレベルでない。	HA のゲインを適切なレベルに設定してください。
	外部機器から信号が出力されていない。	外部機器から信号を出力して、該当チャンネルの SIG インジケータを点灯させてください。
	コンデンサマイクが接続されているのに、ファンタム電源が供給されていない。	[+48V ACTIVE]スイッチ*をオンにしてください。 (* Tio1608-D2 , Rio3224-D3 , Rio1608-D3 以外、または Tio1608-D2 を Tio1608-D Compatibility Mode で使用している場合は、[+48V MASTER]と表示されます。)
		該当チャンネルのファンタム電源をオンにしてください。
	CL, QL, RIVAGE PM, DM7, DM5, DM3 シリーズが接続されていない状態で REFRESH モードになっている。	RESUME モードにしてください。

HA のゲインを調整しても音声レベルが変化しない。	ゲインコンペンセーションがオンになっている。	ゲインコンペンセーションが不要な場合は、ゲインコンペンセーションをオフにしてください。
[UNIT ID]ロータリースイッチやディップスイッチの設定が反映されない。	電源がオンの状態で設定を変更した。	デバイスの電源を入れ直してください。
デバイスを認識しない。	Windows ファイアウォールで通信をブロックされている。	以下の手順で R Remote が Windows ファイアウォールでブロックされないようにしてください。 1. コントロールパネルを開く。 2. 右上の「表示方法」で[カテゴリ]を選択する。 3. [システムとセキュリティ]をクリックする。 4. [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックする。 5. 「許可されたプログラムおよび機能」で「Yamaha R Remote」にチェックを入れ、右のチェックボックスにもチェックを入れる。 6. [OK]ボタンをクリックして、コントロールパネルを終了する。
デバイスと接続が切れる。	(Mac)App Nap を切っていない。	[App Nap を切にする]にチェックを入れてください。
	コンピューターがスリープ状態になった。	コンピューターがスリープ状態にならないように設定してください。
アップデートするデバイスが表示されない。	Ethernet ケーブルが正しく接続されていない。	コンピューターとデバイスの Dante [PRIMARY]端子を Ethernet ケーブルで直接接続してください。ネットワーク経由でアップデートする場合は、R Remote がインストールされているコンピューターとアップデート対象のデバイスがネットワーク経由で正しく接続されているかも確認してください。(44 ページ)
	ネットワークが正しく設定されていない。	コンピューターのネットワーク設定を「コンピューターの IP アドレスを設定する」に従って設定してください。 RMio64-D のアップデートをする場合は、R Remote を使用するコンピューターで IPv6 が有効になっている必要があります。
	アップデートするファームウェアが選択されていない。	アップデートするファームウェアを選択してください。(45 ページ)
	デバイスのディップスイッチの設定が正しくない。	「デバイスの設定をする」を見て、適切な設定にしてください。 アップデートするデバイスが RMio64-D 以外の場合は、アップデート前にディップスイッチ 7,8 を上にした状態でデバイスを再起動してください。ディップスイッチの変更はデバイスをオフにした状態で行ってください。

	R Remote がインストールされているコンピューターで、デバイスと接続しているネットワークカードが選択されていない。	[Network Setup] ダイアログ で、デバイスと通信するネットワークカードを選択してください。
	Windows ファイアウォールで通信をブロックされている。	以下の手順で R Remote が Windows ファイアウォールでブロックされないようにしてください。 コントロールパネルを開く。 右上の「表示方法」で[カテゴリ]を選択する。 [システムとセキュリティ]をクリックする。 [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックする。 「許可されたプログラムおよび機能」で「Yamaha R Remote」にチェックを入れ、右のチェックボックスにもチェックを入れる。 [OK]ボタンをクリックして、コントロールパネルを終了する。
	DANTE DOMAIN MANAGER などによって、デバイスがコンピューターとは別のサブネットに接続されている。	デバイスとコンピューターを同じサブネットに接続してください。
アップデートに失敗する。	アップデート対象デバイスに Dante Device Lock が掛かっている。	アップデート対象デバイスの Dante Device Lock を解除してください。
		メッセージ一覧 の内容に従って、対応してください。
[Select] ボタンがグレーアウトされて選択できない。	Dante に使用するネットワークインターフェースが正しく設定がされていない可能性があります。	Dante Controller の Configuration of Dante Interface で適切なネットワークインターフェースを選択し Dante Controller からアップデートするデバイスが確認できるようにしてください。

